

「石岡市地域福祉計画」策定のための市民アンケート
集計結果報告書

平成28年7月

目次

第1章 調査の概要等	1
1. 調査の概要	1
2. 報告書の注意点	1
第2章 市民意識調査の結果	2
1. 回答者について	2
①性別	2
②年齢	2
③職業	3
④家族構成	3
⑤居住地区（中学校区）	4
⑥居住期間	4
2. 地域との関わりについて	5
①「地域」の範囲	5
②地域の普段の付き合い	6
③地域の付き合いの満足度	8
④地域の付き合いについての考え方	9
⑤日常の悩みや不安	10
⑥悩みや不安を相談したい相手	11
3. 地域の支えあいに関する考えについて	13
①地域の人への援助	13
②地域の高齢者や障害者など困っている世帯への対応	14
③地域満足度	15
④参加している地域活動	17
⑤地域活動に参加していない理由	18
⑥参加したい地域活動	19
⑦災害時要援護者登録制度の認知状況	20
⑧地域支援者としての登録の意向	21
⑨災害時に行きたい地域活動	21
⑩災害時に期待する地域活動	23
⑪生活困窮者自立支援制度の認知状況	24
⑫生活困窮に対して最も必要だと思う支援	24
⑬地域の生活困窮者に対する対応	25
⑭地域の支えあいの仕組みづくりで必要だと思うこと	26
4. 地域福祉のあり方について	27
①地域を住みやすくするために、地域の人たちが取り組むこと	27
②地域の民生委員児童委員の認知状況	28

③民生委員児童委員の活動の認知状況	29
④東日本大震災時の民生委員の活動内容の認知	29
⑤「社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会」の認知状況	30
⑥石岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成24年度）の認知状況	30
⑦社会福祉協議会の活動や支援として充実してほしいもの	31
⑧社会福祉サービス充実のための行政と地域住民の関係	32
⑨市の福祉に関する情報の入手先	32
⑩地域の福祉向上のために、市が充実させるべきこと	34

第1章 調査の概要等

1. 調査の概要

①調査の目的

「誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるために、市民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い支え合うことができる仕組みづくり」を目指して、石岡市と石岡市社会福祉協議会が第2期「地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」を策定するにあたり、市民の福祉に対する意見や地域活動への参加状況及び提言を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

②調査の実施概要

調査対象：市内在住の18歳以上の男女個人

標本数：2,000人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配付一郵送回収

調査期間：平成28年3月1日（火）～平成28年3月31日（木）

回収率：38.2%

2. 報告書の注意点

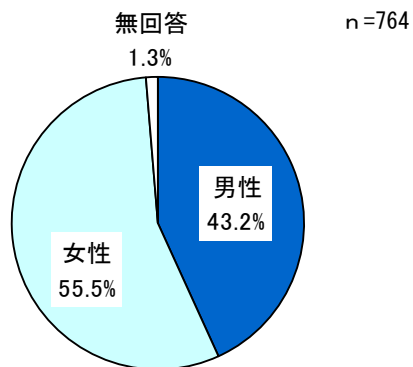
- (1) 表・グラフに使われる「n」は、各設問に対する回答者数を、小数点以下1位までの数値は百分率（単位：%）を表している。
- (2) 百分率の計算は、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単数回答形式であっても合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いることがある。

第2章 市民調査の結果

1. 回答者について

①性別

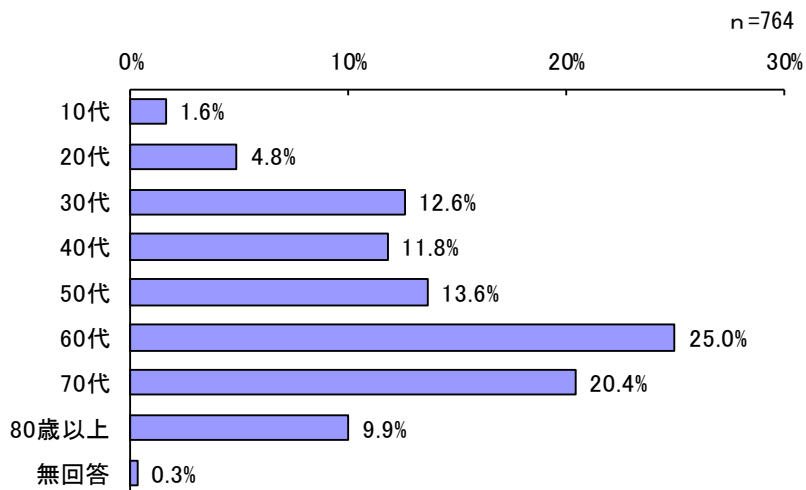
【問1】 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)



「女性」(55.5%) が「男性」(43.2%) よりも3割近く多く回答している。

②年齢

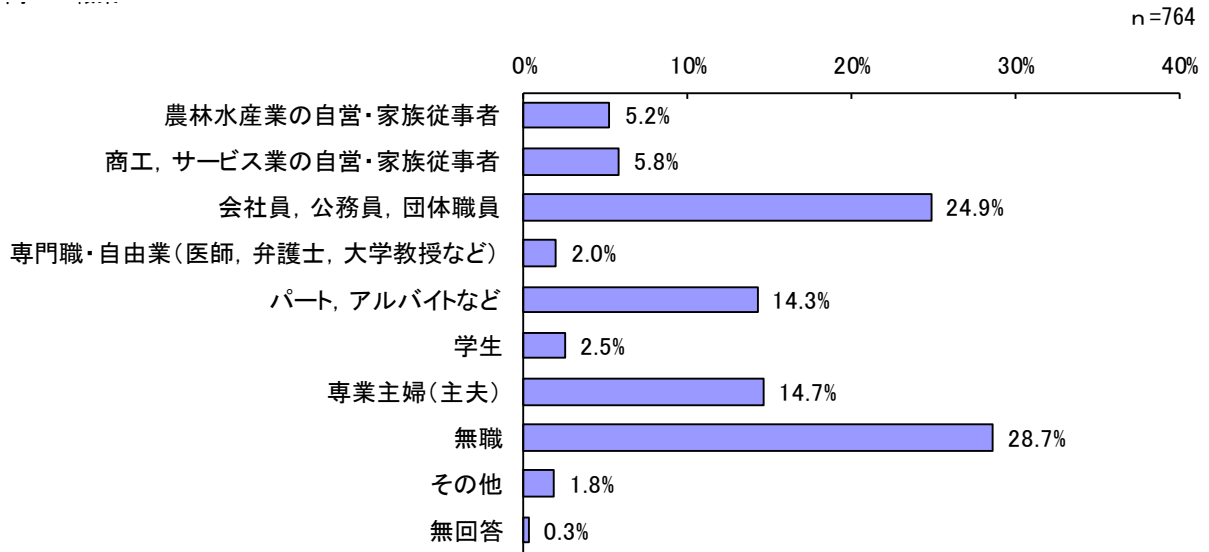
【問2】 平成28年3月1日現在のあなたの年齢は何歳ですか。(〇は1つだけ)



「60代」(25.0%) が最も多く、次いで「70代」(20.4%)、「50代」(13.6%) と続いている。

③職業

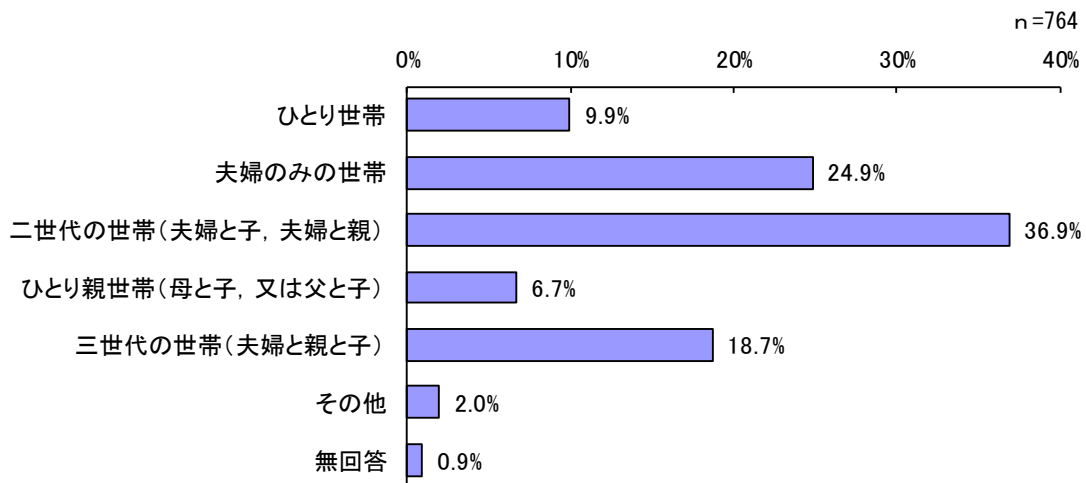
【問3】 あなたのご職業はなんですか。（ご職業を2つ以上お持ちの方は、収入が多い方を優先させてください。）



「無職」（28.7%）が最も多く、次いで「会社員、公務員、団体職員」（24.9%）、「専業主婦（夫）」（14.7%）と続いている。

④家族構成

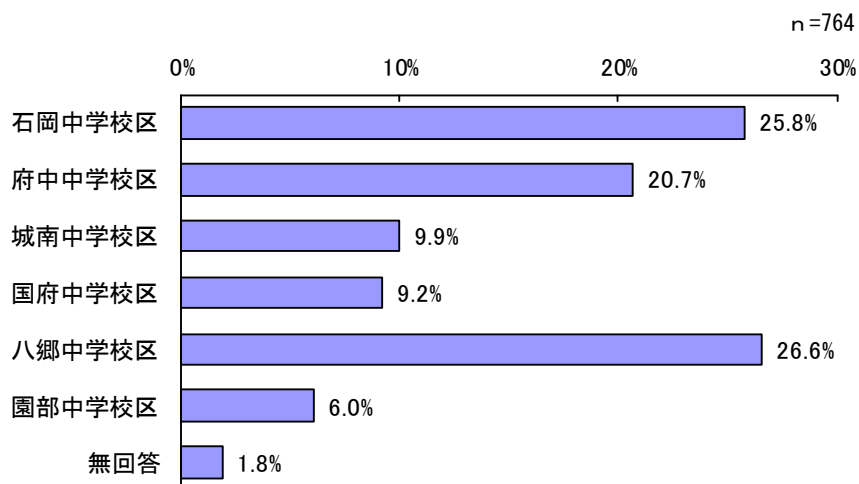
【問4】 あなたの家族構成はどのようになっていますか。（○は1つだけ）



「二世代の世帯」（36.9%）が最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」（24.9%）、「三世代の世帯」（18.7%）と続いている。

⑤居住地区（中学校区）

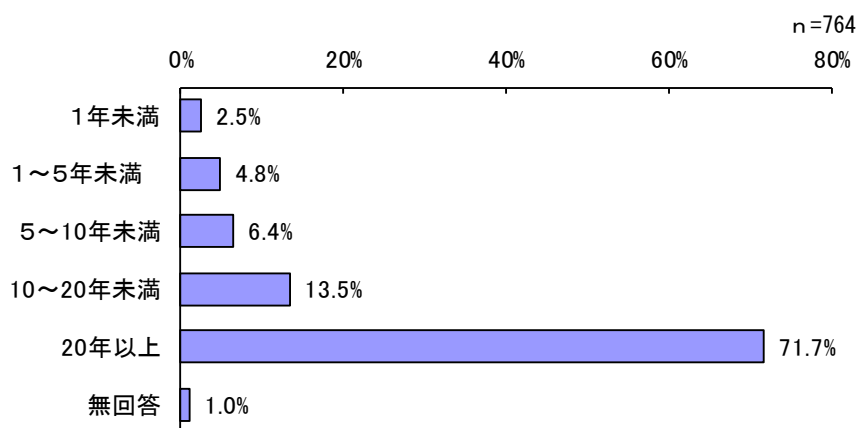
【問5】 あなたのお住まいの中学校区はどこですか。（〇は1つだけ）



「八郷中学校区」(26.6%) が最も多く、次いで「石岡中学校区」(25.8%)、「府中中学校区」(20.7%) と続いている。

⑥居住期間

【問6】 今の学校区に何年住んでいますか。（〇は1つだけ）

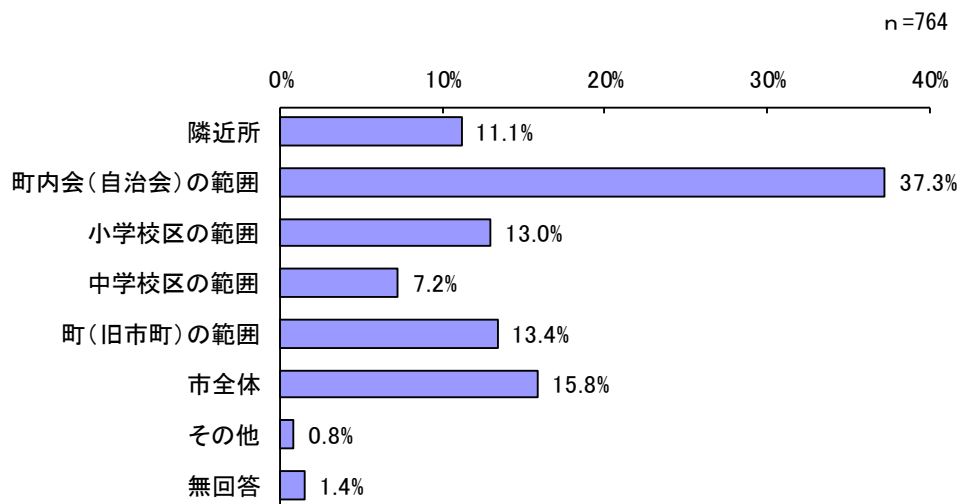


「20年以上」(71.7%) が最も多く、次いで、「10～20年未満」(13.5%)、「5～10年未満」と続いている。現在の学校区に10年以上住み続けている人が8割を超えている。

2. 地域との関わりについて

①「地域」の範囲

【問7】 あなたの考える「地域」の範囲をお答えください。(○は1つだけ)



「町内会(自治会)の範囲」(37.7%)が最も多く、次いで「市全体」(15.8%)、「町(旧市町)の範囲」(13.4%)、「小学校区の範囲」(13.0%)と続いている。

【年齢別・居住地区別】

※上段・・・回答数(単位:人)、下段・・・構成比(単位:%)

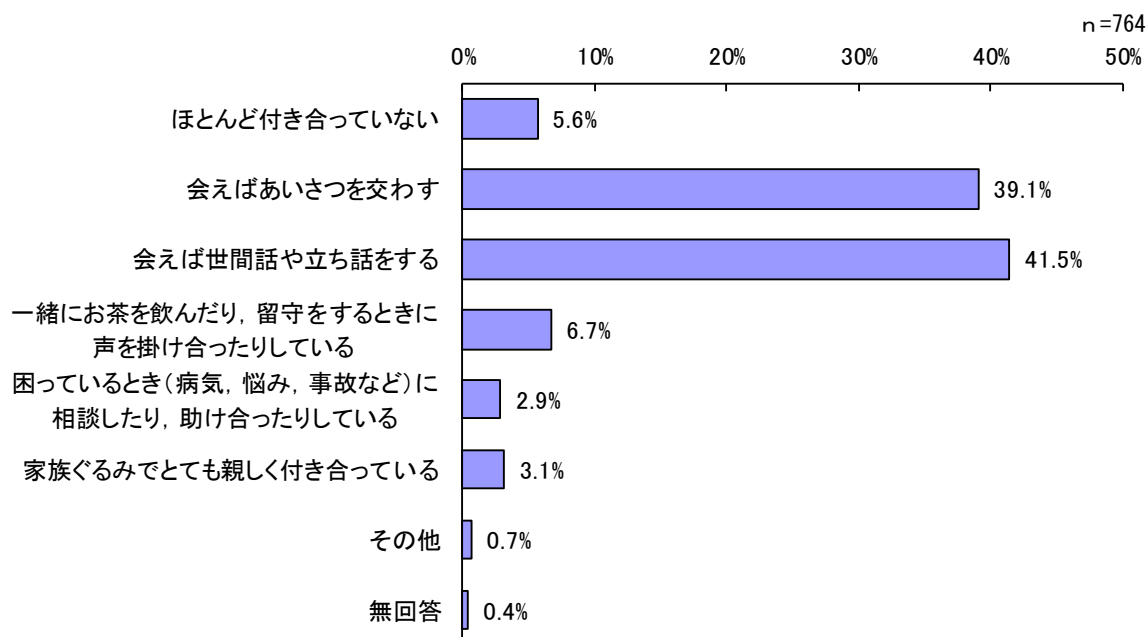
		合計	隣近所	町内会(自治会)の範囲	小学校区の範囲	中学校区の範囲	町(旧市町)の範囲	市全体	その他	無回答
全体		764 100.0	85 11.1	285 37.3	99 13.0	55 7.2	102 13.4	121 15.8	6 0.8	11 1.4
年齢別	10代・20代	49 100.0	4 8.2	8 16.3	4 8.2	7 14.3	16 32.7	10 20.4	0 0.0	0 0.0
	30代	96 100.0	6 6.3	26 27.1	19 19.8	7 7.3	12 12.5	24 25.0	1 1.0	1 1.0
	40代	90 100.0	3 3.3	24 26.7	22 24.4	11 12.2	11 12.2	19 21.1	0 0.0	0 0.0
	50代	104 100.0	6 5.8	37 35.6	17 16.3	10 9.6	15 14.4	17 16.3	0 0.0	2 1.9
	60代	191 100.0	17 8.9	96 50.3	20 10.5	10 5.2	22 11.5	24 12.6	1 0.5	1 0.5
	70代	156 100.0	27 17.3	61 39.1	11 7.1	8 5.1	21 13.5	23 14.7	2 1.3	3 1.9
	80歳以上	76 100.0	22 28.9	32 42.1	6 7.9	2 2.6	5 6.6	4 5.3	2 2.6	3 3.9
居住地区別	石岡中学校区	197 100.0	19 9.6	96 48.7	22 11.2	10 5.1	9 4.6	38 19.3	0 0.0	3 1.5
	府中中学校区	158 100.0	16 10.1	71 44.9	18 11.4	10 6.3	18 11.4	24 15.2	1 0.6	0 0.0
	城南中学校区	76 100.0	10 13.2	22 28.9	16 21.1	6 7.9	6 7.9	15 19.7	1 1.3	0 0.0
	国府中学校区	70 100.0	6 8.6	31 44.3	3 4.3	2 2.9	12 17.1	15 21.4	0 0.0	1 1.4
	八郷中学校区	203 100.0	25 12.3	49 24.1	32 15.8	20 9.9	51 25.1	20 9.9	2 1.0	4 2.0
	園部中学校区	46 100.0	2 4.3	15 32.6	8 17.4	7 15.2	6 13.0	8 17.4	0 0.0	0 0.0

年齢別にみると、10代・20代では「町（旧市町）の範囲」（32.7%）及び「中学校区の範囲」（14.3%）、30代では「市全体」（25.0%）及び「小学校区の範囲」（19.8%）、60代では「町内会（自治会）の範囲」（50.3%）、70代及び80歳以上では「隣近所」（各17.3%、28.9%）が多い。60代以上では、より身近な範囲を地域と考える傾向がある。

居住地区別にみると、城南中学校区では、「町内会（自治会）の範囲」（28.9%）が少なく、「小学校区の範囲」（21.1%）が多い。一方、八郷中学校区では、「町（旧市町）の範囲」（25.1%）が多い。

②地域の普段の付き合い

【問8】 あなたは地域の人たちと、普段どんな付き合いをしていますか。（○は1つだけ）



「会えば世間話や立ち話をする」（41.5%）が最も多く、次いで「会えばあいさつを交わす」（39.1%）、「一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声を掛け合ったりしている」（6.7%）と続いている。

一方、4位には「ほとんど付き合っていない」（5.6%）との回答もある。

【年齢別・居住年数別】

※上段・・・回答数(単位:人)、下段・・・構成比(単位:%)

		合計	ほとんど付き合っていない	会えばあいさつを交わす	会えば世間話や立ち話をする	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声を掛け合ったりしている	困っているときに相談したり、助け合ったりしている	家族ぐるみでとても親しく付き合っている	その他	無回答
全体		764 100.0	43 5.6	299 39.1	317 41.5	51 6.7	22 2.9	24 3.1	5 0.7	3 0.4
年齢別	10代・20代	49 100.0	7 14.3	34 69.4	8 16.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30代	96 100.0	11 11.5	55 57.3	27 28.1	0 0.0	0 0.0	2 2.1	1 1.0	0 0.0
	40代	90 100.0	7 7.8	48 53.3	31 34.4	1 1.1	2 2.2	1 1.1	0 0.0	0 0.0
	50代	104 100.0	1 1.0	55 52.9	41 39.4	2 1.9	1 1.0	2 1.9	2 1.9	0 0.0
	60代	191 100.0	6 3.1	57 29.8	99 51.8	15 7.9	9 4.7	5 2.6	0 0.0	0 0.0
	70代	156 100.0	7 4.5	35 22.4	76 48.7	20 12.8	8 5.1	8 5.1	1 0.6	1 0.6
	80歳以上	76 100.0	4 5.3	14 18.4	35 46.1	12 15.8	2 2.6	6 7.9	1 1.3	2 2.6
居住年数別	1年未満	19 100.0	3 15.8	14 73.7	1 5.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1～5年未満	37 100.0	7 18.9	23 62.2	5 13.5	0 0.0	1 2.7	0 0.0	0 0.0	1 2.7
	5～10年未満	49 100.0	3 6.1	27 55.1	16 32.7	1 2.0	0 0.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0
	10～20年未満	103 100.0	8 7.8	60 58.3	30 29.1	1 1.0	1 1.0	2 1.9	0 0.0	1 1.0
	20年以上	548 100.0	21 3.8	173 31.6	263 48.0	46 8.4	20 3.6	21 3.8	4 0.7	0 0.0

年齢別にみると、10代～50代では「会えばあいさつを交わす」が各年代で5割を超えて多く、60代～80歳以上では「会えば世間話や立ち話をする」が多い。居住年数別にみると、居住年数が「1年未満」では「会えばあいさつを交わす」(73.7%)が7割を超えて多いが、「20年以上」では(31.6%)と少なくなっている一方、「会えば世間話や立ち話をする」が、「5～10年未満」(32.7%)、「10～20年未満」(29.1%)、「20年以上」(48.0%)と、居住年数が増えるにつれ多くなっている。

【前回調査との比較】

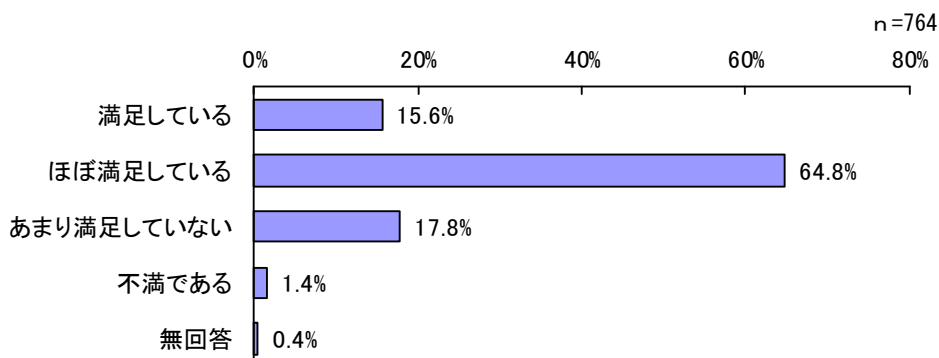
(%)

順位		カテゴリ名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	2	会えば世間話や立ち話をする	41.5	33.8
2	1	会えばあいさつを交わす	39.1	41.0
3	3	一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声を掛け合ったりしている	6.7	7.9
4	4	ほとんど付き合っていない	5.6	6.6
5	6	家族ぐるみでとても親しく付き合っている	3.1	3.1
6	5	困っているとき(病気、悩み、事故など)に相談したり、助け合ったりしている	2.9	4.1
7	8	その他	0.7	1.2
8	7	無回答	0.4	2.3
全体回答数(n)			764	881

前回2位だった「会えば世間話や立ち話をする」の回答割合が増加し、1位となっている。

③地域の付き合いの満足度

【問9】 あなたは、地域の人たちとの今の付き合いに、満足していますか。(○は1つだけ)



「ほぼ満足している」(64.8%)が最も多く、次いで「あまり満足していない」(17.8%)、「満足している」(15.6%)と続いている。

「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた【満足度】は80.4%である。

【家族構成別・居住年数別】

※上段・・・回答数(単位:人)、下段・・・構成比(単位:%)

		合計	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	不満である	無回答
全体		764 100.0	119 15.6	495 64.8	136 17.8	11 1.4	3 0.4
家族構成別	ひとり世帯	76 100.0	13 17.1	38 50.0	22 28.9	1 1.3	2 2.6
	夫婦のみの世帯	190 100.0	26 13.7	122 64.2	40 21.1	2 1.1	0 0.0
	二世代の世帯	282 100.0	56 19.9	182 64.5	40 14.2	3 1.1	1 0.4
	ひとり親世帯	51 100.0	5 9.8	33 64.7	11 21.6	2 3.9	0 0.0
	三世代の世帯(夫婦と親と子)	143 100.0	15 10.5	105 73.4	22 15.4	1 0.7	0 0.0
	その他	15 100.0	4 26.7	9 60.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0
居住年数別	1年未満	19 100.0	5 26.3	11 57.9	3 15.8	0 0.0	0 0.0
	1～5年未満	37 100.0	6 16.2	25 67.6	6 16.2	0 0.0	0 0.0
	5～10年未満	49 100.0	8 16.3	34 69.4	6 12.2	1 2.0	0 0.0
	10～20年未満	103 100.0	10 9.7	68 66.0	24 23.3	1 1.0	0 0.0
	20年以上	548 100.0	88 16.1	354 64.6	95 17.3	8 1.5	3 0.5

「あまり満足していない」と回答した中では、家族構成別にみると、「ひとり世帯」(28.9%)が多く、居住年数別に見ると、「10～20年未満」(23.3%)が多い。

【前回調査との比較】

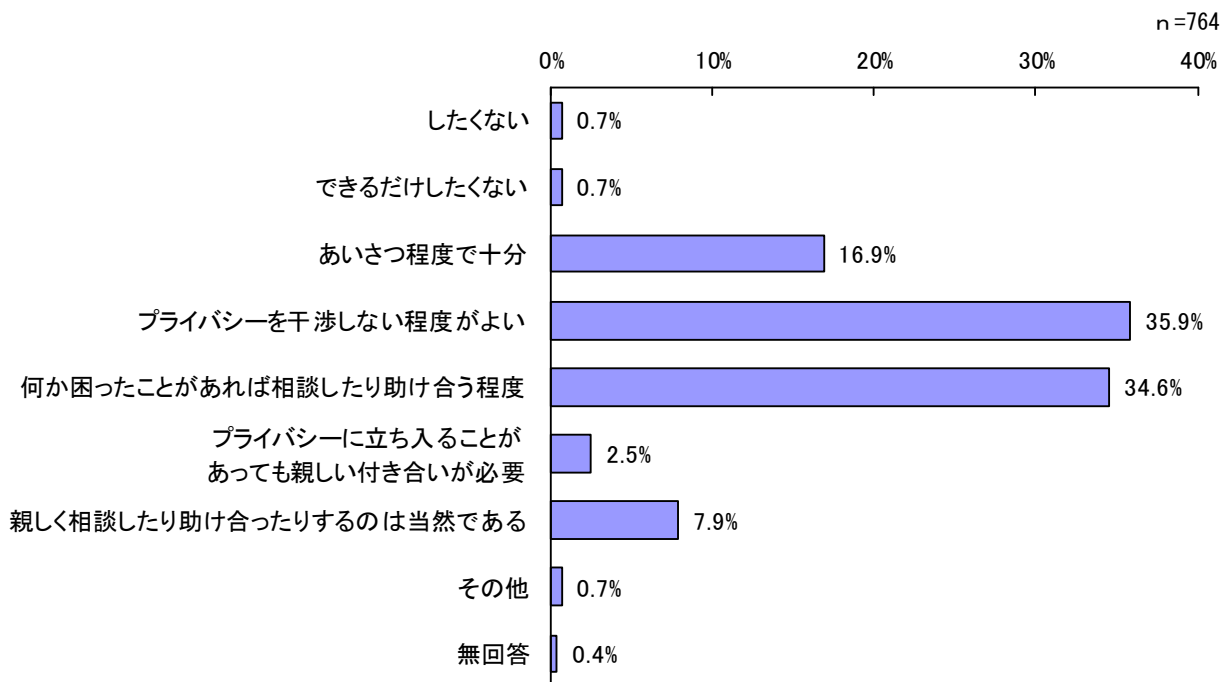
(%)

順位		カテゴリ名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	1	ほぼ満足している	64.8	55.6
2	2	あまり満足していない	17.8	21.1
3	3	満足している	15.6	16.5
4	5	不満である	1.4	2.2
5	4	無回答	0.4	4.7
全体回答数 (n)			764	881

順位に変動はないが、「ほぼ満足している」の回答割合が前回の55.6%から64.8%に増加している。「満足」と「ほぼ満足している」を合わせた【満足度】についても、72.1%から80.4%に増加している。

④地域の付き合いについての考え方

【問10】 地域の人たちとの付き合いについて、あなたの考えに近いものを選んでください。
(○は1つだけ)



「プライバシーを干渉しない程度がよい」(35.9%)が最も多く、次いで「何か困ったことがあれば相談したり助け合う程度」(34.6%)、「あいさつ程度で十分」(16.9%)と続いている。

【前回調査との比較】

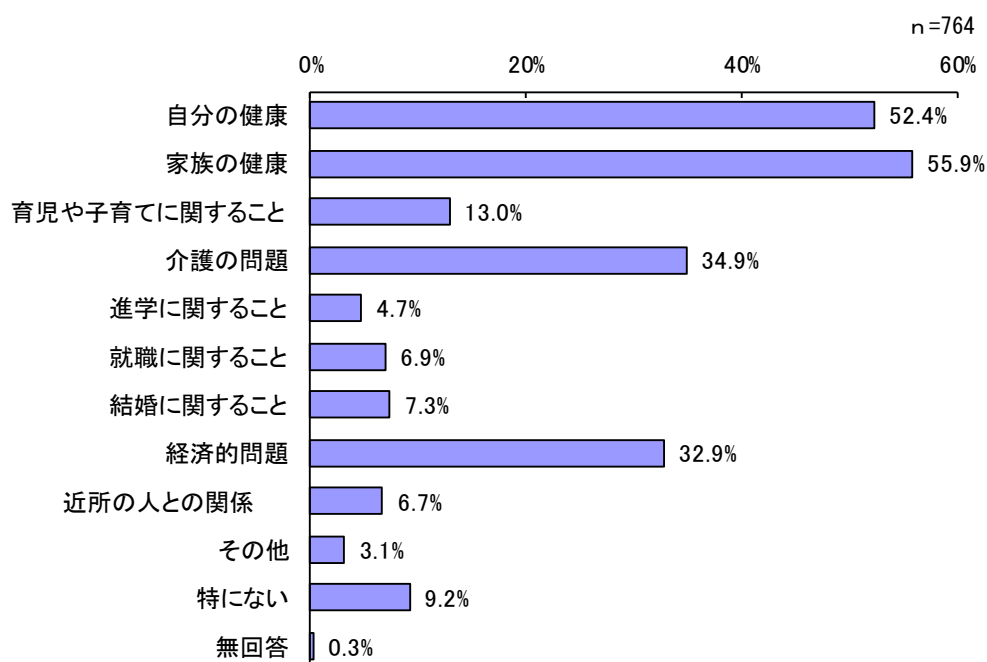
(%)

順位		カテゴリー名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	2	プライバシーを干渉しない程度がよい	35.9	31.2
2	1	何か困ったことがあれば相談したり助け合う程度	34.6	34.4
3	3	あいさつ程度で十分	16.9	16.9
4	4	親しく相談したり助け合ったりするのは当然である	7.9	9.8
5	6	プライバシーに立ち入ることがあっても親しい付き合いが必要	2.5	1.7
6	8	したくない	0.7	1.0
6	7	できるだけしたくない	0.7	1.5
6	9	その他	0.7	0.8
9	5	無回答	0.4	2.7
		全体	764	881

前回2位だった「プライバシーを干渉しない程度がよい」の回答割合が増加し、1位となっている。

⑤日常の悩みや不安

【問11】 あなたは、毎日の暮らしの中で、どんな悩みや不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)



「家族の健康」(55.9%)が最も多く、次いで「自分の健康」(52.4%)、「介護の問題」(34.9%)、「経済的問題」(32.9%)と続いている。

【年齢別】

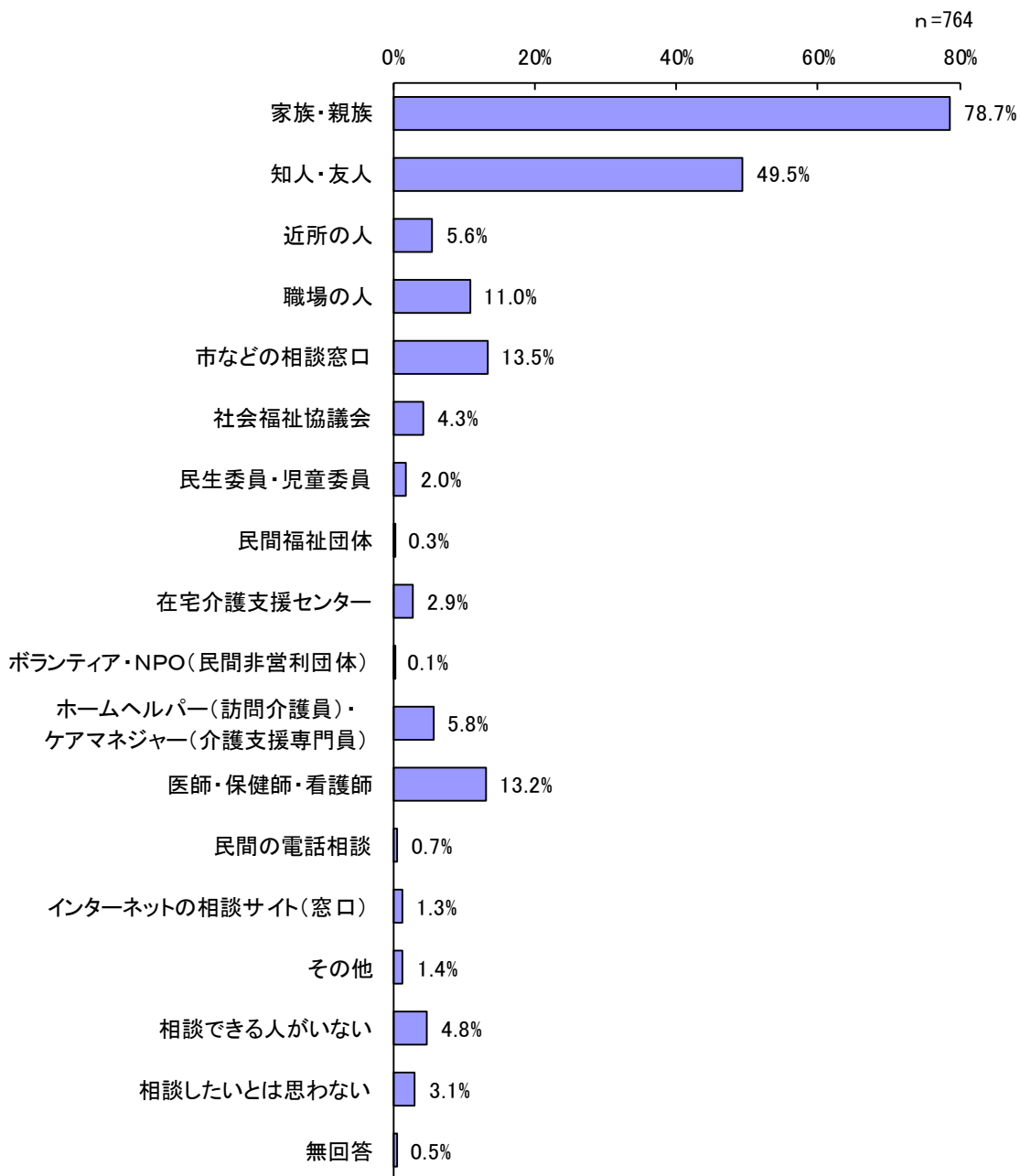
※上段・・・回答数（単位：人）、下段・・・構成比（単位：％）

		合計	自分の健康	家族の健康	育児や子育てに関すること	介護の問題	進学に関すること	就職に関すること	結婚に関すること	経済的問題	近所の人との関係	その他	特にない	無回答
全体		764 100.0	400 52.4	427 55.9	99 13.0	267 34.9	36 4.7	53 6.9	56 7.3	251 32.9	51 6.7	24 3.1	70 9.2	2 0.3
年齢別	10代・20代	49 100.0	14 28.6	20 40.8	10 20.4	12 24.5	6 12.2	19 38.8	9 18.4	18 36.7	5 10.2	1 2.0	7 14.3	0 0.0
	30代	96 100.0	36 37.5	51 53.1	47 49.0	25 26.0	12 12.5	10 10.4	11 11.5	44 45.8	8 8.3	2 2.1	9 9.4	0 0.0
	40代	90 100.0	46 51.1	51 56.7	27 30.0	27 30.0	13 14.4	6 6.7	6 6.7	40 44.4	7 7.8	3 3.3	9 10.0	0 0.0
	50代	104 100.0	50 48.1	62 59.6	7 6.7	50 48.1	4 3.8	10 9.6	10 9.6	41 39.4	10 9.6	6 5.8	11 10.6	0 0.0
	60代	191 100.0	107 56.0	117 61.3	5 2.6	73 38.2	1 0.5	5 2.6	13 6.8	58 30.4	9 4.7	7 3.7	17 8.9	1 0.5
	70代	156 100.0	93 59.6	83 53.2	3 1.9	51 32.7	0 0.0	2 1.3	6 3.8	40 25.6	7 4.5	3 1.9	13 8.3	1 0.6
	80歳以上	76 100.0	53 69.7	42 55.3	0 0.0	28 36.8	0 0.0	1 1.3	1 1.3	10 13.2	5 6.6	2 2.6	4 5.3	0 0.0

10代・20代では「就職に関すること」(38.8%)及び「結婚に関すること」(18.4%)、30代、40代では「育児や子育てに関すること」(各49.0%、30.0%)及び「経済的問題」(各45.8%、44.4%)、50代では「介護の問題」(48.1%)、60代では「家族の健康」(61.3%)、80歳以上では「自分の健康」(69.7%)が多い。

⑥悩みや不安を相談したい相手

【問12】 あなたは、悩みや不安について、誰に相談したいですか。(〇は3つまで)



「家族・親族」(78.7%)が最も多く、次いで「知人・友人」(49.5%)、「市などの相談窓口」(13.5%)と続いている。

【年齢別・家族構成別】

※上段・・・回答数(単位:人)、下段・・・構成比(単位:%)

	合計	家族・親族	知人・友人	近所の人	職場の人	市などの相談窓口	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	民間福祉団体	在宅介護支援センター	NPO	ボランティア	ホームヘルパー・ケアマネジャー	看護師	医師・保健師・看護師	民間の電話相談	インターネットの相談サイト(窓口)	その他
全体	764 100.0	601 78.7	378 49.5	43 5.6	84 11.0	103 13.5	33 4.3	15 2.0	2 0.3	22 2.9	1 0.1	44 5.8	101 13.2	5 0.7	10 1.3	11 1.4		
年齢別	10代・20代	49 100.0	41 83.7	37 75.5	0 0.0	9 18.4	3 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.1	0 0.0	1 2.0	1 2.0	
	30代	96 100.0	75 78.1	71 74.0	1 1.0	28 29.2	9 9.4	3 3.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.1	6 6.3	0 0.0	2 2.1	2 2.1	
	40代	90 100.0	73 81.1	63 70.0	2 2.2	23 25.6	9 10.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	2 2.2	6 6.7	0 0.0	4 4.4	0 0.0	
	50代	104 100.0	89 85.6	53 51.0	3 2.9	13 12.5	15 14.4	4 3.8	2 1.9	0 0.0	5 4.8	0 0.0	4 3.8	6 5.8	2 1.9	0 0.0	1 1.0	
	60代	191 100.0	143 74.9	95 49.7	13 6.8	9 4.7	28 14.7	9 4.7	1 0.5	0 0.0	8 4.2	0 0.0	15 7.9	31 16.2	2 1.0	2 1.0	2 1.0	
	70代	156 100.0	118 75.6	45 28.8	14 9.0	2 1.3	29 18.6	13 8.3	6 3.8	0 0.0	5 3.2	1 0.6	9 5.8	32 20.5	1 0.6	1 0.6	5 3.2	
	80歳以上	76 100.0	60 78.9	13 17.1	10 13.2	0 0.0	10 13.2	3 3.9	4 5.3	1 1.3	4 5.3	0 0.0	10 13.2	17 22.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	ひとり世帯	76 100.0	42 55.3	32 42.1	9 11.8	6 7.9	7 9.2	8 10.5	4 5.3	1 1.3	0 0.0	1 1.3	6 7.9	6 7.9	2 2.6	0 0.0	3 3.9	
家族構成別	夫婦のみの世帯	190 100.0	155 81.6	73 38.4	8 4.2	9 4.7	27 14.2	12 6.3	8 4.2	0 0.0	9 4.7	0 0.0	12 6.3	30 15.8	0 0.0	1 0.5	2 1.1	
	二世代の世帯	282 100.0	228 80.9	149 52.8	14 5.0	43 15.2	41 14.5	9 3.2	1 0.4	1 0.4	6 2.1	0 0.0	13 4.6	30 10.6	2 0.7	4 1.4	2 0.7	
	ひとり親世帯	51 100.0	35 68.6	28 54.9	6 11.8	7 13.7	8 15.7	2 3.9	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	3 5.9	5 9.8	0 0.0	1 2.0	2 3.9	
	三世代の世帯	143 100.0	123 86.0	86 60.1	5 3.5	14 9.8	18 12.6	2 1.4	1 0.7	0 0.0	6 4.2	0 0.0	9 6.3	24 16.8	1 0.7	4 2.8	2 1.4	
	その他	15 100.0	11 73.3	6 40.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

10代～40代では「知人・友人」及び「職場の人」が多いが、年代が上がるにつれ減少している。一方、60代以上では「医師・保健師・看護師」が多い。

家族構成別にみると、ひとり世帯では「家族・親族」(55.3%)が少なく、「近所の人」(11.8%)及び「社会福祉協議会」(10.5%)が多い。

【前回調査との比較】

(%)

順位		カテゴリー名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	1	家族・親族	78.7	79.1
2	2	知人・友人	49.5	49.5
3	4	市などの相談窓口	13.5	12.3
4	3	医師・保健師・看護師	13.2	13.3
5	5	職場の人	11.0	11.8
6	7	ホームヘルパー（訪問介護員）・ケアマネジャー（介護支援専門員）	5.8	3.9
7	6	近所の人	5.6	7.2
8	11	相談できる人がいない	4.8	2.3
9	8	社会福祉協議会	4.3	3.2
10	9	相談したいとは思わない	3.1	3.1
11	12	在宅介護支援センター	2.9	2.3
12	13	民生委員・児童委員	2.0	1.7
13	14	その他	1.4	1.7
14	15	インターネットの相談サイト（窓口）	1.3	1.6
15	16	民間の電話相談	0.7	0.8
16	10	無回答	0.5	2.5
17	17	民間福祉団体	0.3	0.3
18	18	ボランティア・NPO（民間非営利団体）	0.1	0.1
		全体回答数（n）	764	881

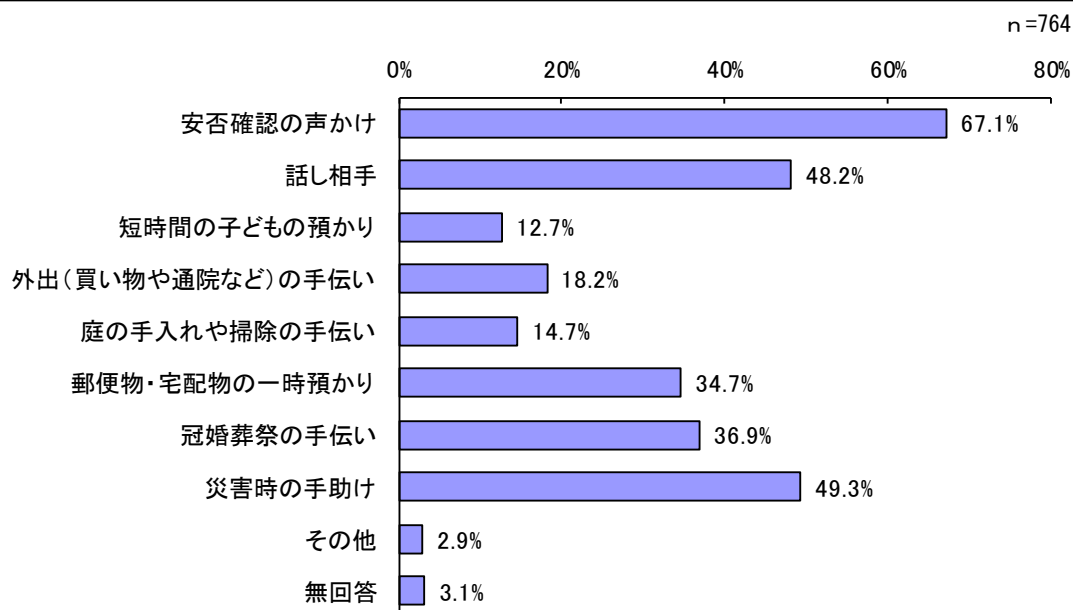
前回7位だった「ホームヘルパー・ケアマネジャー」及び11位だった「相談できる人がいない」の回答割合がやや増加し、それぞれ6位、8位となっている。

一方、前回6位だった「近所の人」及び8位だった「社会福祉協議会」の回答割合がやや減少し、それぞれ7位、9位となっている。

3. 地域の支えあいに関する考えについて

① 地域の人への援助

【問13】 あなたは、あなたと同じ地域の人たちから頼まれたら、どんなことができますか。
(あてはまるものすべてに○)



「安否確認の声かけ」(67.1%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(49.3%)、「話し相手」(48.2%)と続いている。

【年齢別】

※上段・・・回答数(単位:人)、下段・・・構成比(単位:%)

	合計	安否確認の声かけ	話し相手	短時間の子どもの預かり	外出(買い物や通院など)の手伝い	庭の手入れや掃除の手伝い	郵便物・宅配物の一時預かり	冠婚葬祭の手伝い	災害時の手助け	その他	無回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
全体	764	513	368	97	139	112	265	282	377	22	24	
	100.0	67.1	48.2	12.7	18.2	14.7	34.7	36.9	49.3	2.9	3.1	
年齢別	10代・20代	49	32	21	10	7	17	12	32	0	0	
		100.0	65.3	42.9	20.4	14.3	20.4	34.7	24.5	65.3	0.0	0.0
	30代	96	71	55	18	14	10	34	29	49	1	2
		100.0	74.0	57.3	18.8	14.6	10.4	35.4	30.2	51.0	1.0	2.1
	40代	90	70	33	21	16	10	36	32	60	1	0
		100.0	77.8	36.7	23.3	17.8	11.1	40.0	35.6	66.7	1.1	0.0
	50代	104	75	37	5	17	13	43	48	63	3	5
	100.0	72.1	35.6	4.8	16.3	12.5	41.3	46.2	60.6	2.9	4.8	
60代	191	138	93	28	51	41	74	88	100	3	5	
	100.0	72.3	48.7	14.7	26.7	21.5	38.7	46.1	52.4	1.6	2.6	
70代	156	89	84	13	31	23	44	58	55	7	6	
	100.0	57.1	53.8	8.3	19.9	14.7	28.2	37.2	35.3	4.5	3.8	
80歳以上	76	36	44	2	2	4	16	15	17	7	6	
	100.0	47.4	57.9	2.6	2.6	5.3	21.1	19.7	22.4	9.2	7.9	

10代～40代では「短時間の子供の預かり」が多く、70代以上では「話し相手」が多い。その他40代では「郵便物等の一時預かり」(40.0%)、50代では「冠婚葬祭の手伝い」(46.2%)及び「郵便物等の一時預かり」(41.3%)、60代では「冠婚葬祭の手伝い」(46.1%)、「外出の手伝い」(26.7%)、「庭の手入れや掃除の手伝い」(21.5%)が多い。

また、「災害時の手助け」と回答した中では、10代・20代(65.3%)及び40代(66.7%)、50代が(60.6%)が多い。

【前回との比較】

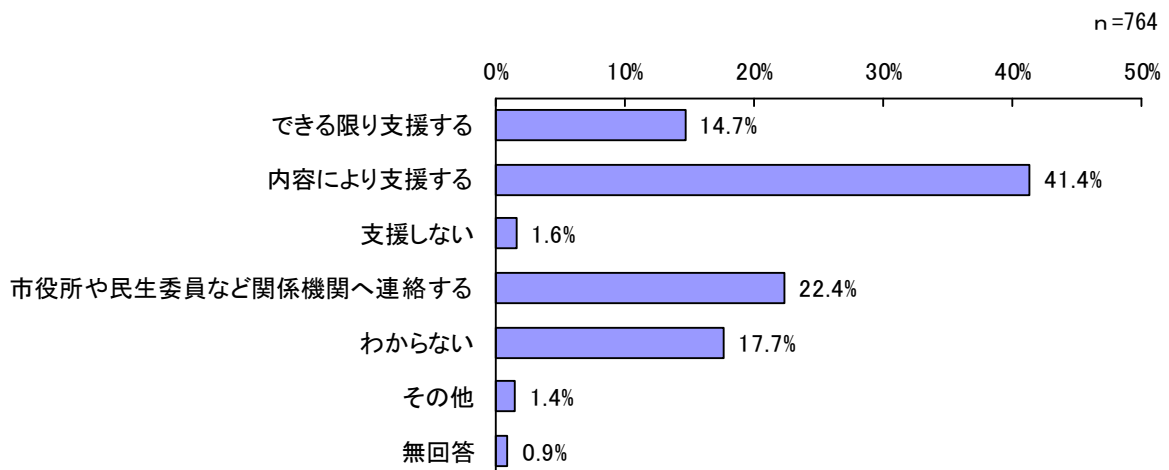
(%)

順位		カテゴリー名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	1	安否確認の声かけ	67.1	63.7
2	2	災害時の手助け	49.3	52.7
3	3	話し相手	48.2	50.5
4	4	冠婚葬祭の手伝い	36.9	44.4
5	5	郵便物・宅配物の一時預かり	34.7	42.2
6	6	外出（買い物や通院など）の手伝い	18.2	22.5
7	7	庭の手入れや掃除の手伝い	14.7	16.7
8	8	短時間の子どもの預かり	12.7	16.6
9	-	その他	2.9	-
		全体	764	881

順位に変動はないが、「冠婚葬祭の手伝い」及び「郵便物・宅配物の一時預かり」の回答割合が、それぞれ44.4%から36.9%、42.2%から34.7%に減少している。

②地域の高齢者や障害者など困っている世帯への対応

【問14】 あなたは、あなたと同じ地域で、高齢者や障がい者、子育てなどで困っている世帯があったら、どうしますか。（○は1つだけ）



「内容により支援する」(41.4%)が最も多く、次いで「市役所や民生委員など関係機関へ連絡する」(22.4%)、「わからない」(17.7%)と続いている。

【年齢別】

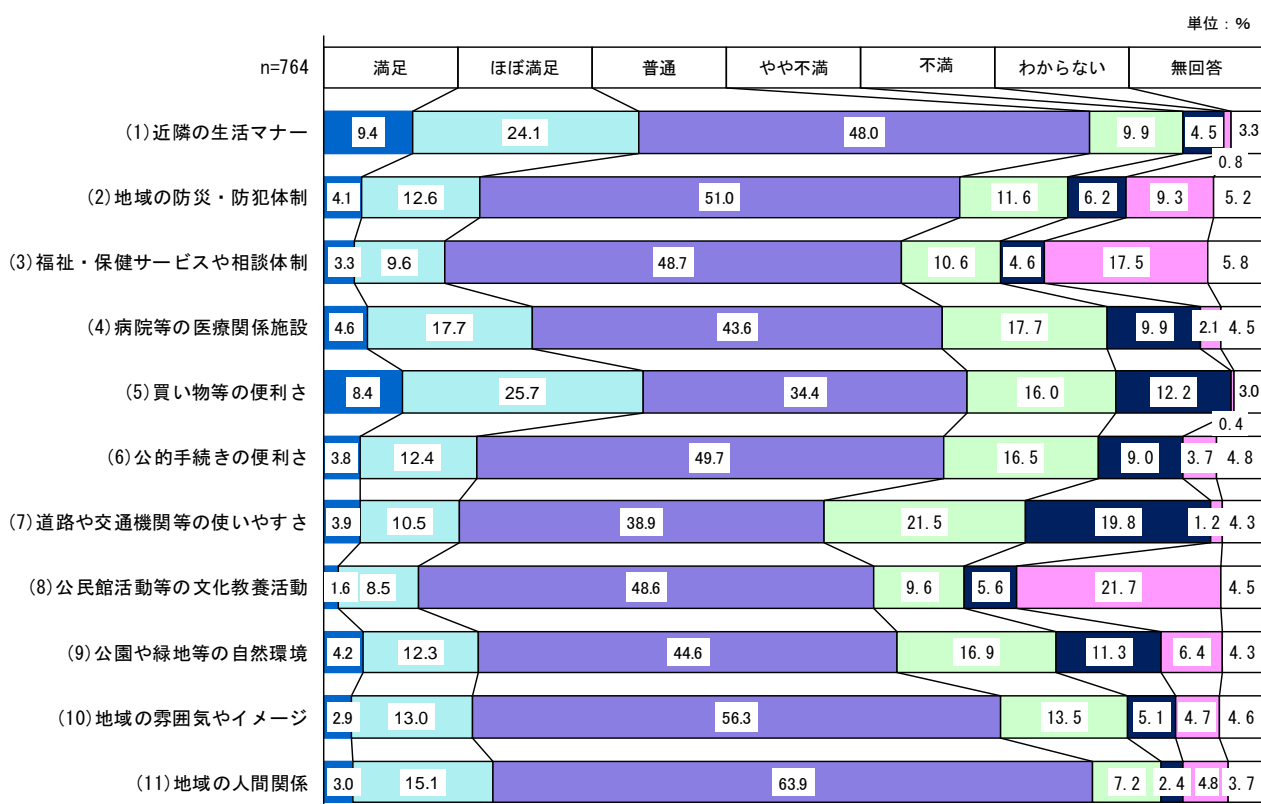
※上段・・・回答数（単位：人）、下段・・・構成比（単位：％）

		合計	できる限り支援する	内容により支援する	支援しない	市役所や民生委員など関係機関へ連絡する	わからない	その他	無回答
全体		764 100.0	112 14.7	316 41.4	12 1.6	171 22.4	135 17.7	11 1.4	7 0.9
年齢別	10代・20代	49 100.0	3 6.1	24 49.0	4 8.2	4 8.2	13 26.5	0 0.0	1 2.0
	30代	96 100.0	17 17.7	36 37.5	1 1.0	16 16.7	24 25.0	1 1.0	1 1.0
	40代	90 100.0	3 3.3	46 51.1	1 1.1	19 21.1	21 23.3	0 0.0	0 0.0
	50代	104 100.0	16 15.4	47 45.2	1 1.0	20 19.2	17 16.3	3 2.9	0 0.0
	60代	191 100.0	29 15.2	92 48.2	1 0.5	48 25.1	20 10.5	0 0.0	1 0.5
	70代	156 100.0	27 17.3	53 34.0	2 1.3	43 27.6	23 14.7	5 3.2	3 1.9
	80歳以上	76 100.0	17 22.4	17 22.4	2 2.6	20 26.3	17 22.4	2 2.6	1 1.3

10代・20代では「支援しない」(8.2%)が多く、「市役所や民生委員等関係機関へ連絡」(8.2%)が少ない。一方、「わからない」と回答した中では、10代～40代の若い世代が多い。

③地域満足度

【問15】 あなたは、今住んでいる地域について、以下にあげたそれぞれのことについて満足していますか、それとも不満ですか。（各項目の番号に1つだけ○）

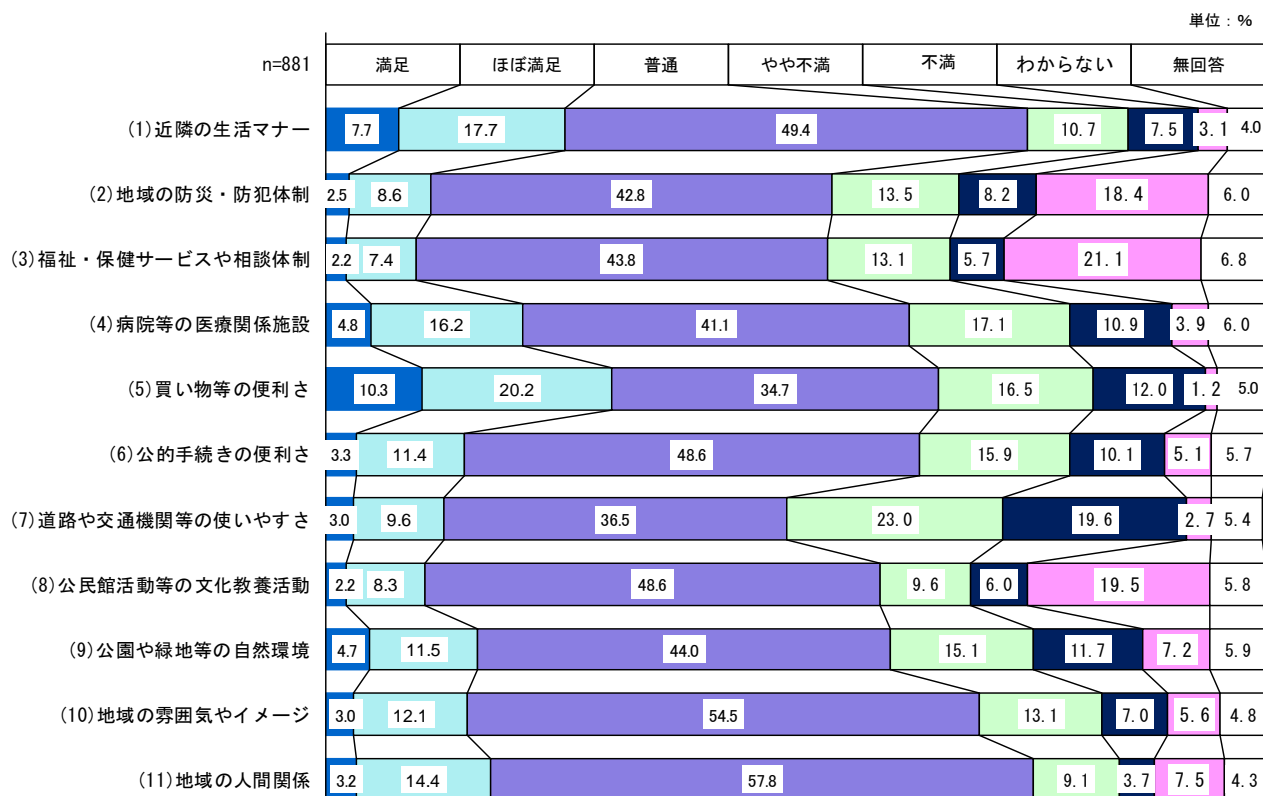


- (1) 近隣の生活マナーの満足度は、「普通」(48.0%)が最も多く、次いで「ほぼ満足」(24.1%)、「やや不満」(9.9%)と続いている。
- (2) 地域の防災・防犯体制の満足度は、「普通」(51.0%)が最も多く、次いで「ほぼ満足」(12.6%)、「やや不満」(11.6%)と続いている。
- (3) 福祉・保健サービスや相談体制の満足度は、「普通」(48.7%)が最も多く、次いで「わからない」(17.5%)、「やや不満」(10.6%)と続いている。
- (4) 病院等の医療関係施設の満足度は、「普通」(43.6%)が最も多く、次いで「ほぼ満足」及び「やや不満」(10.6%)が同数で続いている。
- (5) 買い物等の便利さの満足度は、「普通」(34.4%)が最も多く、次いで「ほぼ満足」(25.7%)、「やや不満」(16.0%)と続いている。
- (6) 公的手続きの便利さの満足度は、「普通」(49.7%)が最も多く、次いで「やや不満」(16.5%)、「ほぼ満足」(12.4%)と続いている。
- (7) 道路や交通機関等の使いやすさの満足度は、「普通」(38.9%)が最も多く、次いで「やや不満」(21.5%)、「不満」(19.8%)と続いている。
- (8) 公民館活動等の文化教養活動の満足度は、「普通」(48.6%)が最も多く、次いで「わからない」(21.7%)、「やや不満」(9.6%)と続いている。
- (9) 公園や緑地等の自然環境の満足度は、「普通」(44.6%)が最も多く、次いで「やや不満」(16.9%)、「ほぼ満足」(12.3%)と続いている。
- (10) 地域の雰囲気やイメージの満足度は、「普通」(56.3%)が最も多く、次いで「やや不満」(13.5%)、「ほぼ満足」(13.0%)と続いている。
- (11) 地域の人間関係の満足度は、「普通」(63.9%)が最も多く、次いで「ほぼ満足」(15.1%)、「やや不満」(7.2%)と続いている。

「満足」と「ほぼ満足」を合わせた【満足度】及び「不満」と「やや不満」を合わせた【不満度】をみると、満足度の高いものとしては、「買い物などの便利さ」(34.1%)、「近隣の生活マナー」(33.5%)、「病院などの医療関係施設」(22.3%)となっている。

一方、不満度の高いものとしては、「道路や交通機関等の使いやすさ」(41.3%)、「買い物などの便利さ」及び「公園や緑地などの自然環境」(同28.2%)となっている。

【前回調査との比較】

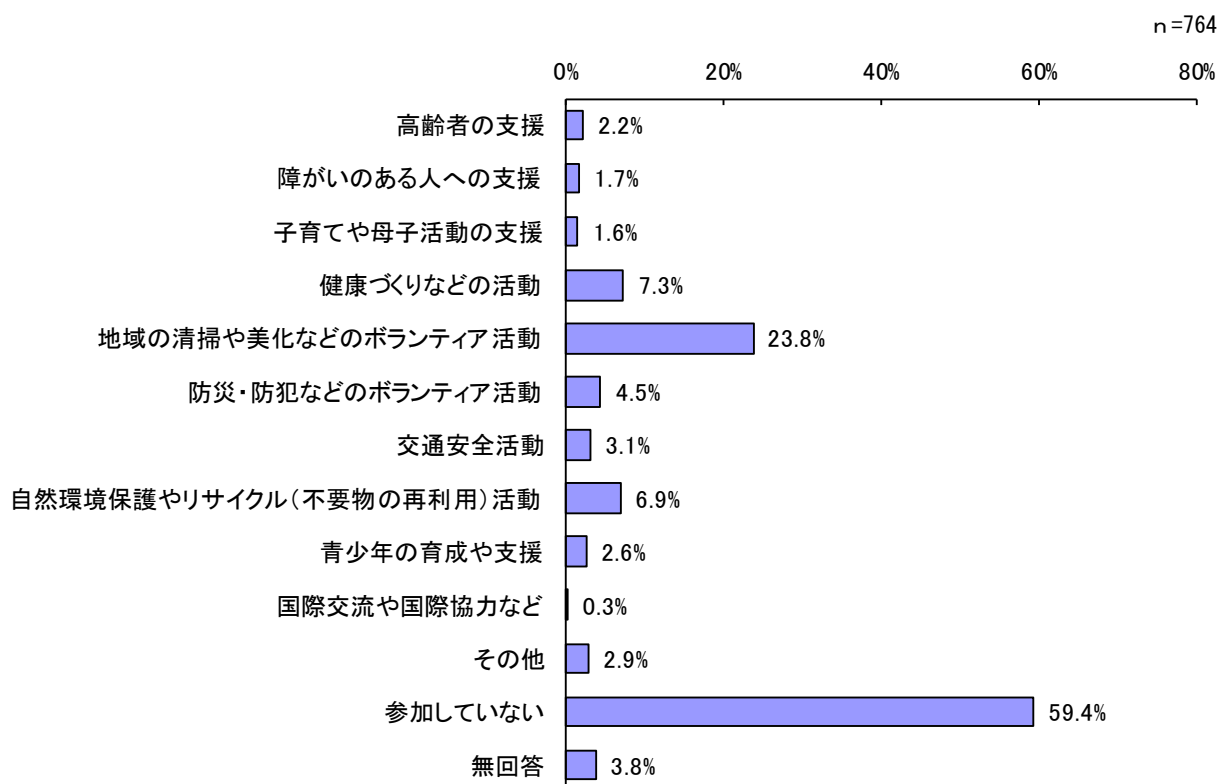


※前回調査

- (1) 近隣の生活マナーの満足度は、「ほぼ満足」の回答割合が増加し、【満足度】は25.4%から33.5%に増加している。
- (2) 地域の防災・防犯体制の満足度は、「ほぼ満足」の回答割合がやや増加し、【満足度】は11.1%から16.7%に増加している。一方、「普通」の回答割合も42.8%から51.0%に増加している。
- (5) 買い物等の便利さの満足度は、「ほぼ満足」の回答割合が増加し、【満足度】は30.5%から34.1%に増加している。
- (9) 公園や緑地などの自然環境の満足度は、【不満度】が26.8%から28.1%にやや増加している。
- (11) 地域の人間関係の満足度は、「普通」の回答割合が57.8%から63.9%に増加している。

④参加している地域活動

【問16】 あなたが今参加している地域活動は、どんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

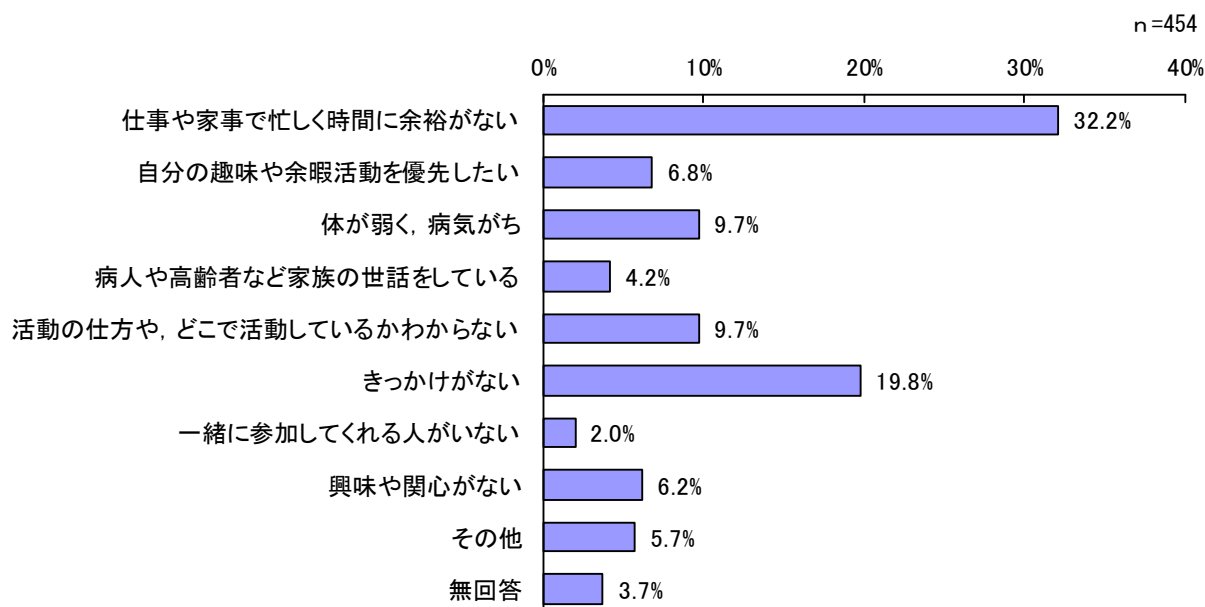


参加している地域活動としては、「地域の清掃や美化などのボランティア活動」(23.8%)が最も多く、次いで「健康づくりなどの活動」(7.3%)、「自然環境保護やリサイクル(不要物の再利用)活動」(6.9%)と続いている。

一方、全体としては「参加していない」(59.4%)が最も多い。

⑤地域活動に参加していない理由

〔問16で「12 参加していない」と回答された方にお聞きします。〕
【問16-1】 その理由はどんなことですか（○は1つだけ）



「仕事や家事で忙しく時間に余裕がない」(32.2%) が最も多く、次いで「きっかけがない」(19.8%)、「体が弱く、病気がち」及び「活動の仕方や、どこで活動しているかわからない」(9.7%) が同数で続いている。

【年齢別】

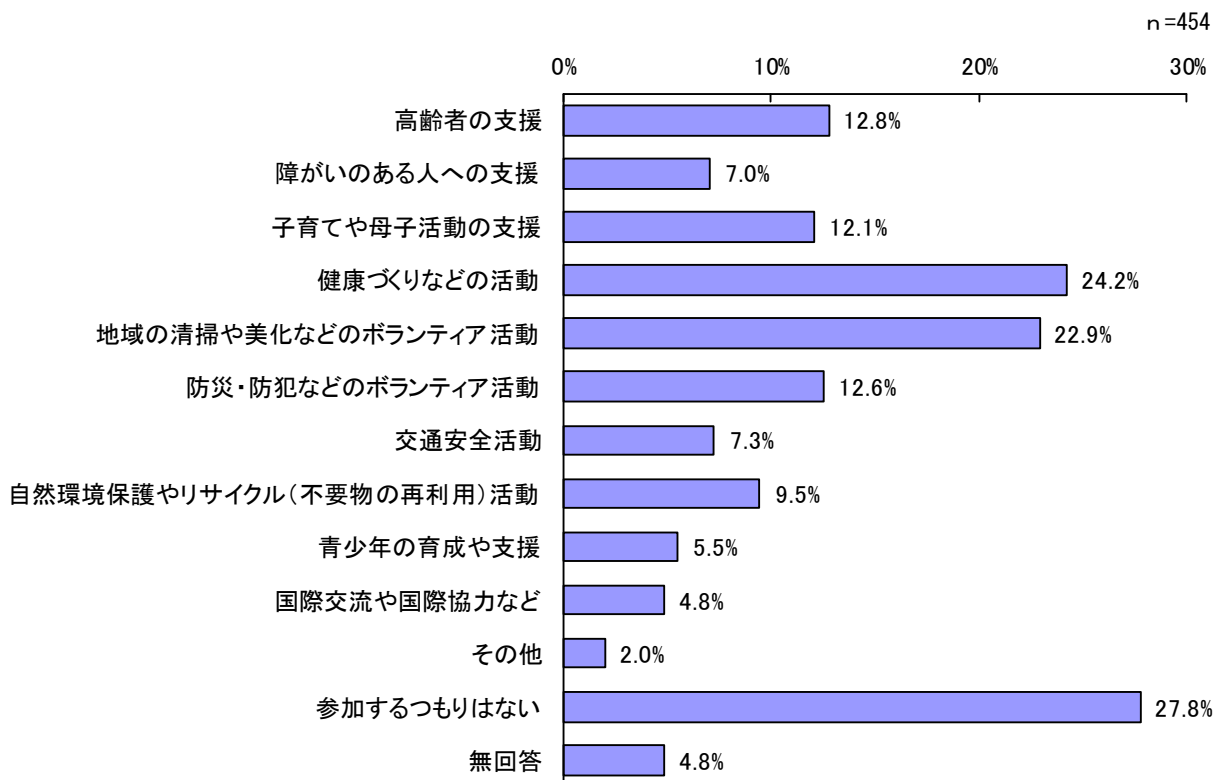
※上段・・・回答数(単位:人)、下段・・・構成比(単位:%)

	合計	仕事や家事で忙しく時間に余裕がない	自分の趣味や余暇活動を優先したい	体が弱く、病気がち	病人や高齢者など家族の世話をしている	活動の仕方や、どこで活動しているかわからない	きっかけがない	一緒に参加してくれる人がいない	興味や関心がない	その他	無回答	
												回答数
全体	454	146	31	44	19	44	90	9	28	26	17	
	100.0	32.2	6.8	9.7	4.2	9.7	19.8	2.0	6.2	5.7	3.7	
年齢別	10代・20代	40	9	2	0	0	4	16	1	4	3	1
		100.0	22.5	5.0	0.0	0.0	10.0	40.0	2.5	10.0	7.5	2.5
	30代	72	31	6	1	0	12	13	1	5	1	2
		100.0	43.1	8.3	1.4	0.0	16.7	18.1	1.4	6.9	1.4	2.8
	40代	58	40	0	1	0	2	10	0	1	1	3
		100.0	69.0	0.0	1.7	0.0	3.4	17.2	0.0	1.7	1.7	5.2
	50代	49	24	0	4	4	10	5	0	2	0	0
	100.0	49.0	0.0	8.2	8.2	20.4	10.2	0.0	4.1	0.0	0.0	
60代	92	28	10	4	9	7	24	2	6	2	0	
	100.0	30.4	10.9	4.3	9.8	7.6	26.1	2.2	6.5	2.2	0.0	
70代	93	14	9	16	3	7	16	4	7	12	5	
	100.0	15.1	9.7	17.2	3.2	7.5	17.2	4.3	7.5	12.9	5.4	
80歳以上	49	0	4	18	3	2	5	1	3	7	6	
	100.0	0.0	8.2	36.7	6.1	4.1	10.2	2.0	6.1	14.3	12.2	

30代～50代では「仕事や家事で忙しく時間に余裕がない」が多く60代～70代では「体が弱く、病気がち」が多い。「きっかけがない」と回答した中では、10代・20代(40.0%)及び60代(26.1%)が多い。

⑥参加したい地域活動

【問16-2】 もしこれから参加するとしたら、どんな活動に参加したいですか。
(あてはまるものすべてに○)



参加したい地域活動としては、「健康づくりなどの活動」(24.2%)が最も多く、次いで「地域の清掃や美化などのボランティア活動」(22.9%)、「高齢者の支援」(12.8%)と続いている。

一方、全体としては、「参加するつもりはない」(27.8%)が最も多い。

【年齢別】

※上段・・・回答数（単位：人）、下段・・・構成比（単位：％）

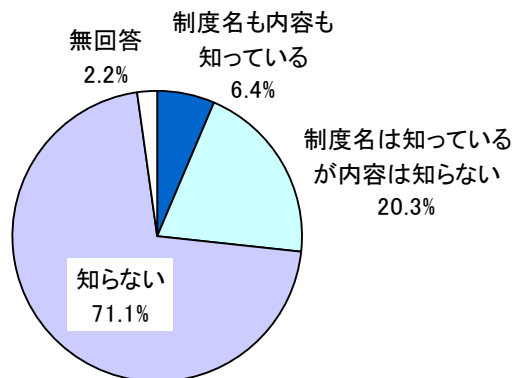
	合計	高齢者の支援	障がいのある人への支援	子育てや母子活動の支援	健康づくりなどの活動	地域の清掃や美化などのボランティア活動	防災・防犯などのボランティア活動	交通安全活動	自然環境保護やリサイクル活動	青少年の育成や支援	国際交流や国際協力など	その他	参加するつもりはない	無回答	
全体	454 100.0	58 12.8	32 7.0	55 12.1	110 24.2	104 22.9	57 12.6	33 7.3	43 9.5	25 5.5	22 4.8	9 2.0	126 27.8	22 4.8	
年齢別	10代・20代	40 100.0	4 10.0	5 12.5	4 10.0	4 10.0	15 37.5	7 17.5	6 15.0	5 12.5	3 7.5	6 15.0	1 2.5	10 25.0	0 0.0
	30代	72 100.0	12 16.7	6 8.3	26 36.1	11 15.3	19 26.4	14 19.4	11 15.3	13 18.1	5 6.9	4 5.6	0 0.0	11 15.3	0 0.0
	40代	58 100.0	9 15.5	6 10.3	10 17.2	9 15.5	12 20.7	9 15.5	2 3.4	5 8.6	7 12.1	4 6.9	0 0.0	13 22.4	2 3.4
	50代	49 100.0	7 14.3	2 4.1	4 8.2	15 30.6	12 24.5	6 12.2	3 6.1	5 10.2	3 6.1	2 4.1	1 2.0	9 18.4	4 8.2
	60代	92 100.0	9 9.8	2 2.2	8 8.7	36 39.1	26 28.3	14 15.2	5 5.4	7 7.6	4 4.3	5 5.4	2 2.2	19 20.7	3 3.3
	70代	93 100.0	8 8.6	8 8.6	2 2.2	26 28.0	16 17.2	6 6.5	6 6.5	4 4.3	3 3.2	1 1.1	4 4.3	40 43.0	7 7.5
	80歳以上	49 100.0	8 16.3	3 6.1	1 2.0	8 16.3	3 6.1	1 2.0	0 0.0	3 6.1	0 0.0	0 0.0	1 2.0	24 49.0	6 12.2

10代・20代では「地域の清掃や美化などのボランティア活動」（37.5%）及び「交通安全活動」（15.0%）、30代では「子育てや母子活動の支援」（36.1%）及び「自然環境保護やリサイクル活動」、「交通安全活動」（15.3%）、40代では「子育てや母子活動の支援」（17.2%）及び「青少年の育成や支援」（12.1%）、50代、60代では「健康づくりなどの活動」（各30.6%、39.1%）、70代以上では「参加するつもりはない」（各43.0%、49.0%）が多い。

⑦災害時要援護者登録制度の認知状況

【問17】 あなたは、「災害時要援護者登録制度」についてご存知ですか。（○は1つだけ）

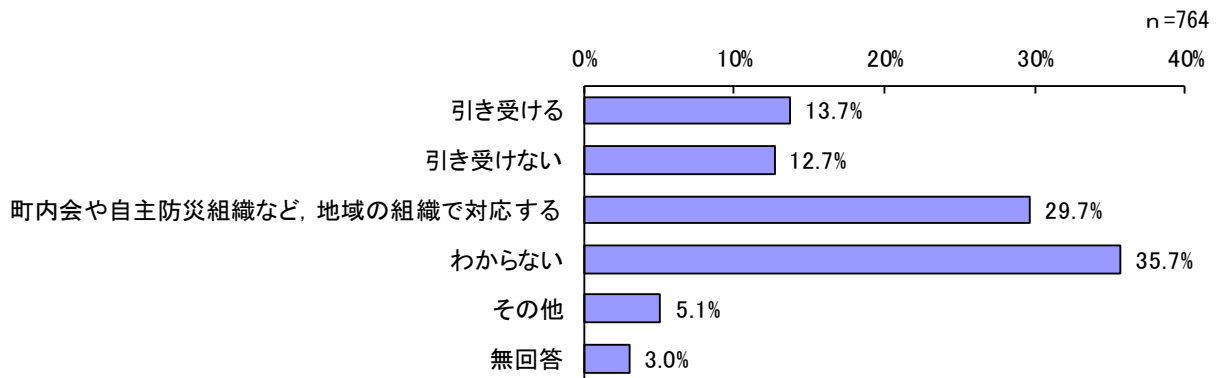
n=764



「知らない」（71.1%）が最も多く、次いで「制度は知っているが内容は知らない」（20.3%）、「制度名も内容も知っている」（6.4%）と続いている。

⑧地域支援者としての登録の意向

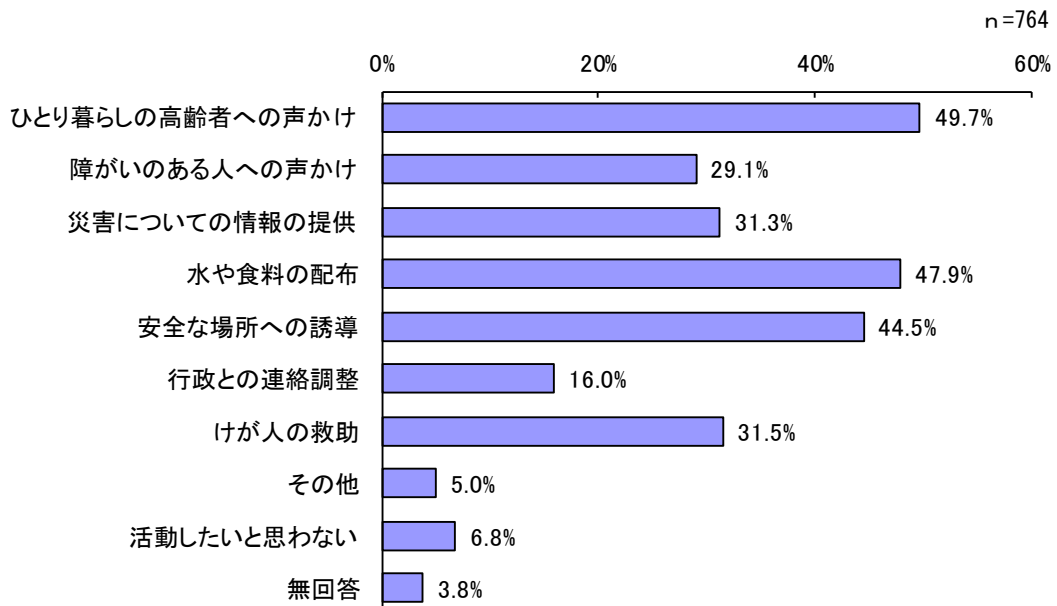
【問18】 あなたは、要援護者※から、災害発生時の地域支援者※として登録を依頼された場合どのように対応しますか。(〇は1つだけ)



「わからない」(35.7%)が最も多く、次いで「町内会や自主防災組織など、地域の組織で対応する」(29.7%)、「引き受ける」(13.7%)と続いている。

⑨災害時に行いたい地域活動

【問19】 あなたは、東日本大震災や常総市水害のような災害が発生したとしたら、地域でどんな活動をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)



「ひとり暮らしの高齢者への声かけ」(49.7%)が最も多く、次いで「水や食料の配布」(47.9%)、「安全な場所への誘導」(44.5%)と続いている。

【年齢別】

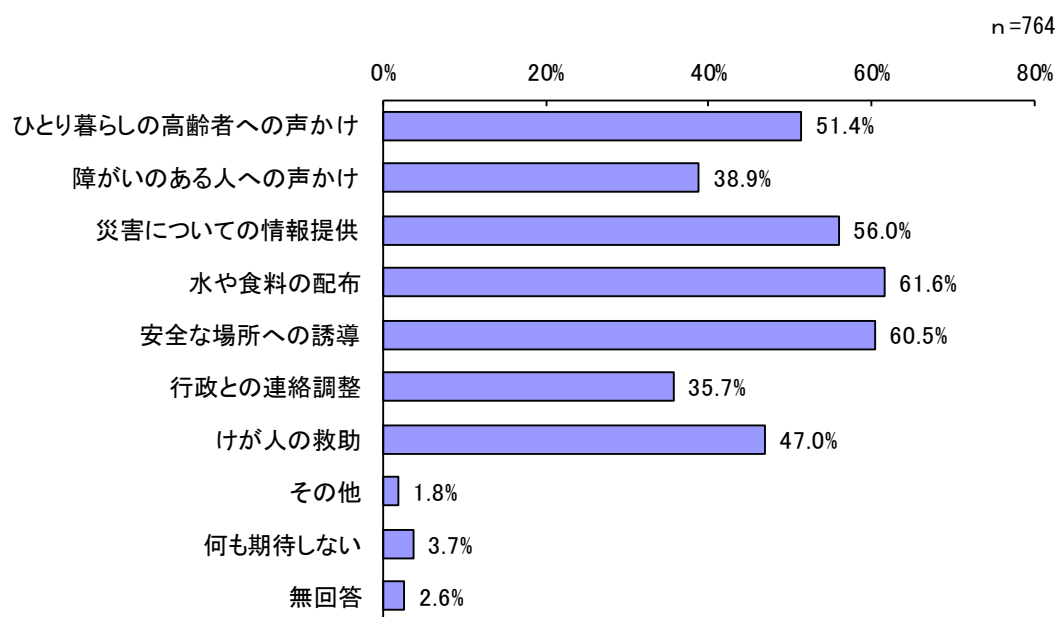
※上段・・・回答数（単位：人）、下段・・・構成比（単位：％）

	合計	ひとり暮らしの高齢者への声かけ	障がいのある人への声かけ	災害についての情報の提供	水や食料の配布	安全な場所への誘導	行政との連絡調整	けが人の救助	その他	活動したいと思わない	無回答	
全体	764 100.0	380 49.7	222 29.1	239 31.3	366 47.9	340 44.5	122 16.0	241 31.5	38 5.0	52 6.8	29 3.8	
年齢別	10代・20代	49 100.0	19 38.8	20 40.8	15 30.6	31 63.3	24 49.0	5 10.2	20 40.8	1 2.0	5 10.2	1 2.0
	30代	96 100.0	43 44.8	21 21.9	35 36.5	59 61.5	51 53.1	10 10.4	37 38.5	2 2.1	2 2.1	1 1.0
	40代	90 100.0	41 45.6	25 27.8	36 40.0	54 60.0	43 47.8	14 15.6	34 37.8	4 4.4	5 5.6	1 1.1
	50代	104 100.0	55 52.9	32 30.8	38 36.5	56 53.8	50 48.1	17 16.3	37 35.6	7 6.7	5 4.8	2 1.9
	60代	191 100.0	97 50.8	62 32.5	69 36.1	96 50.3	95 49.7	42 22.0	66 34.6	10 5.2	7 3.7	6 3.1
	70代	156 100.0	94 60.3	46 29.5	34 21.8	60 38.5	61 39.1	26 16.7	41 26.3	6 3.8	12 7.7	8 5.1
	80歳以上	76 100.0	30 39.5	15 19.7	11 14.5	9 11.8	15 19.7	7 9.2	5 6.6	8 10.5	16 21.1	9 11.8

10代～50代では「水や食料の配布」が6割前後と多い。その他10代・20代では「障がいのある人への声かけ」及び「けが人の救助」（同40.8%）、30代では「安全な場所への誘導」（53.1%）及び「災害についての情報の提供」（36.5）、40代では「災害についての情報」（40.0%）及び「けが人の救助」（37.8%）、50代では「災害についての情報の提供」（36.5%）、60代では「行政との連絡調整」（22.0%）、70代では「ひとり暮らしの高齢者への声かけ」（60.3%）が多い。

⑩災害時に期待する地域活動

【問20】 あなたは、東日本大震災や常総市水害のような災害が発生したとしたら、地域の人たちにどんな活動を期待しますか。（あてはまるものすべてに○）

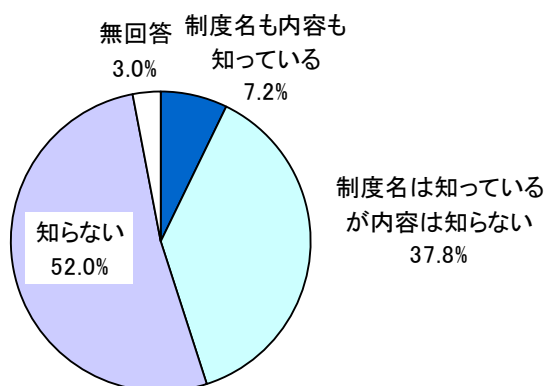


「水や食料の配布」（61.6%）が最も多く、次いで「安全な場所への誘導」（60.5%）、「災害についての情報提供」（56.0%）と続いている。

⑪生活困窮者自立支援制度の認知状況

【問 21】 あなたは、「生活困窮者自立支援制度」についてご存知ですか。(○は1つだけ)

n=764

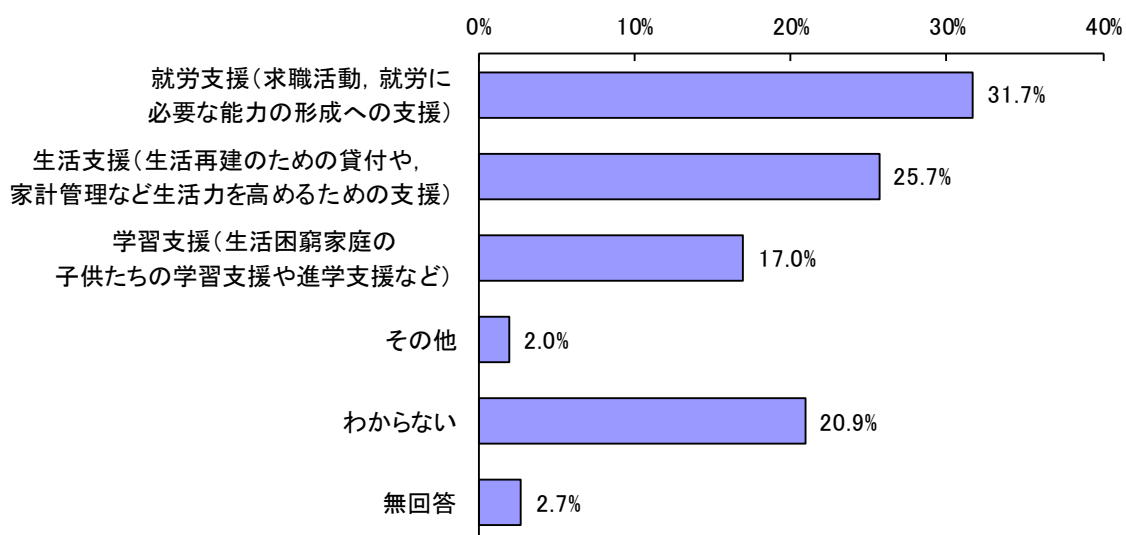


「知らない」(52.0%) が最も多く、次いで「制度名は知っているが内容は知らない」(37.8%)、「制度名も内容も知っている」(7.2%) と続いている。

⑫生活困窮に対して最も必要だと思う支援

【問 22】 あなたは生活困窮の問題や支援制度について、具体的にどのような支援が最も必要だと思いますか。(○は1つだけ)

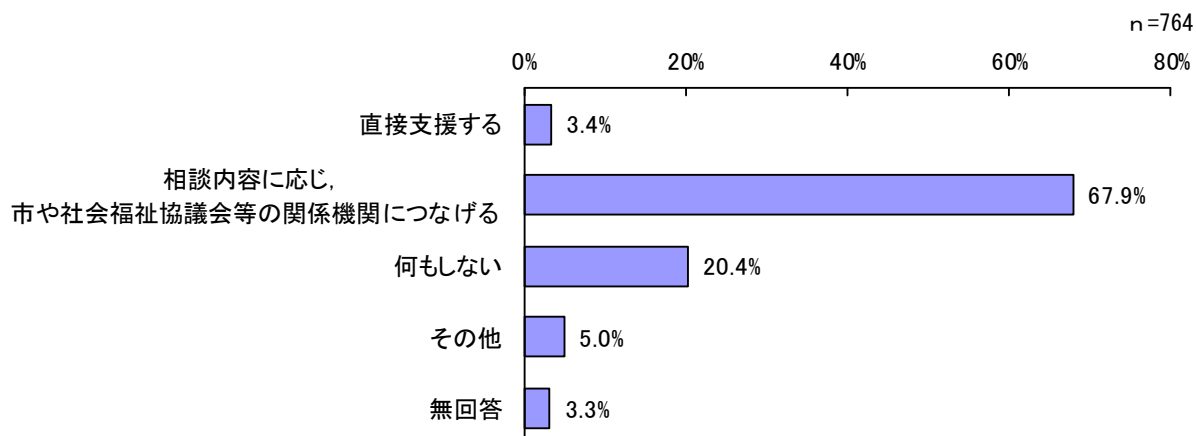
n=764



「就労支援(求職活動、就労に必要な能力の形成への支援)」(31.7%) が最も多く、次いで「生活支援(生活再建のための貸付や、家計管理など生活力を高めるための支援)」(25.7%)、「わからない」(20.9%) と続いている。

⑬地域の生活困窮者に対する対応

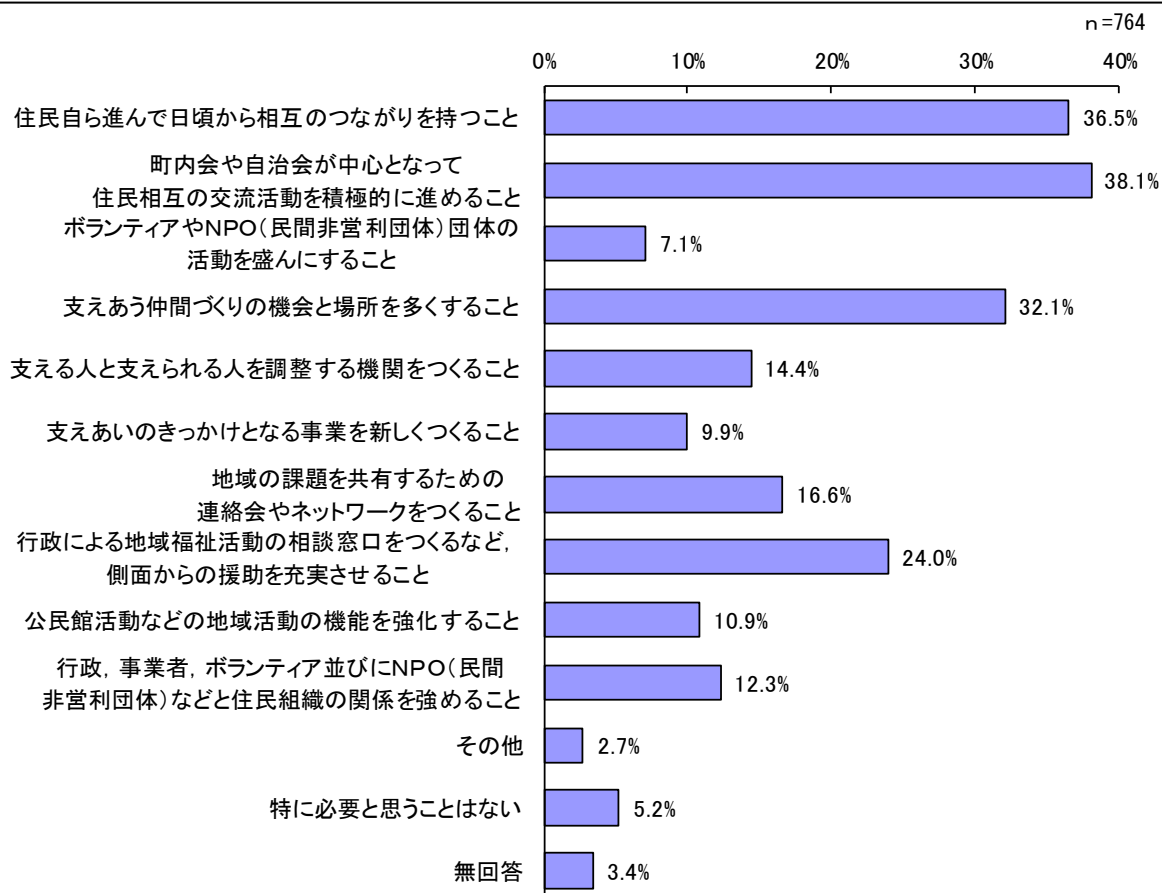
【問 23】 あなたは、生活が困窮している方に対し、地域の一人としてどのような対応をしますか。
(〇は1つだけ)



「相談内容に応じ、市や社会福祉協議会等の関係機関につなげる」(67.9%)が最も多く、次いで「何もしない」(20.4%)、「その他」(5.0%)と続いている。

⑭地域の支えあいの仕組みづくりで必要だと思うこと

【問24】 地域の支えあいの仕組みづくりをするために、あなたが特に必要だと思うことはどんなことですか。(〇は3つまで)

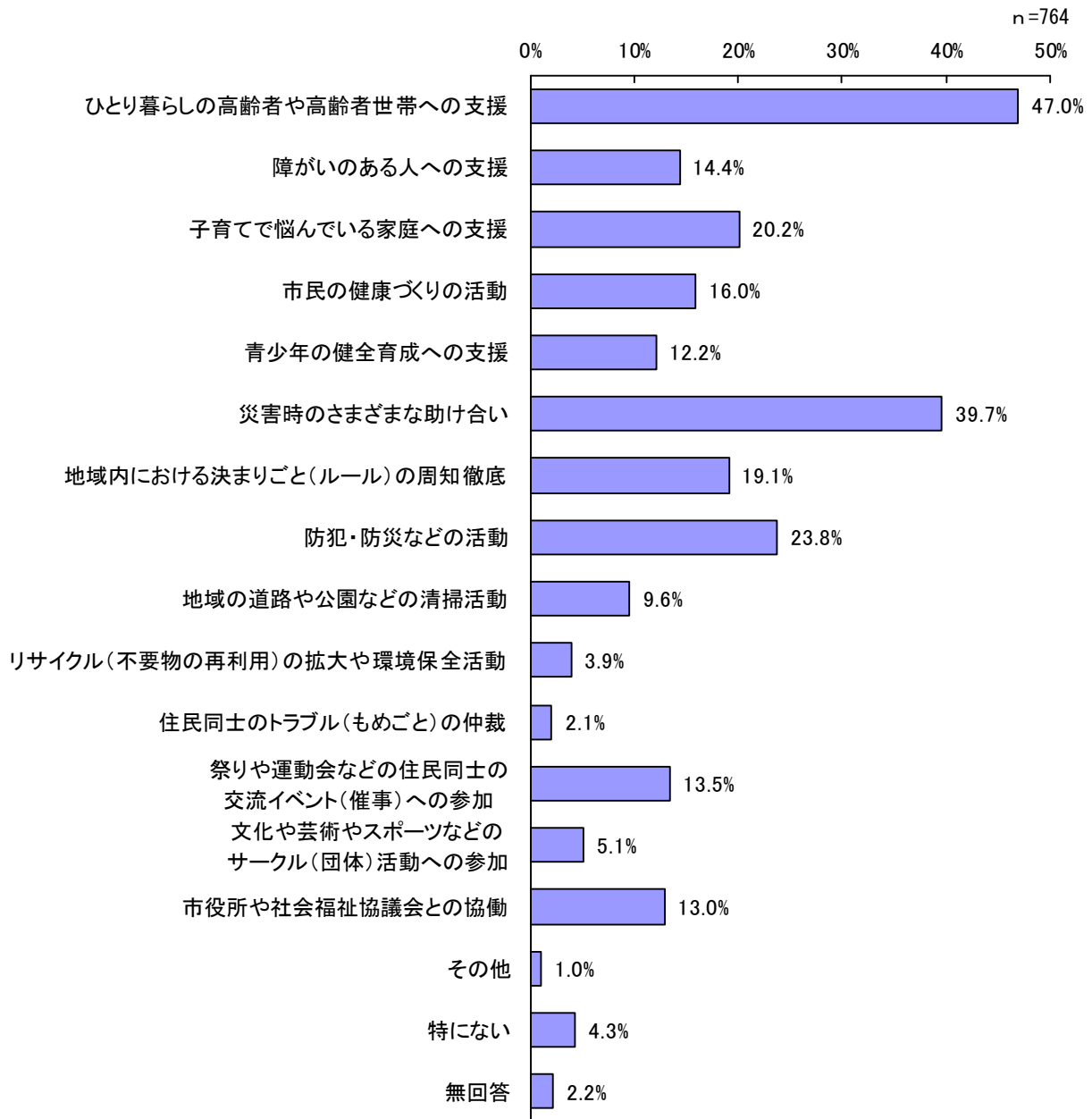


「町内会や自治会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること」(38.1%)が最も多く、次いで「住民自ら進んで日頃から相互のつながりを持つこと」(36.5%)、「支えあう仲間づくりの機会と場所を多くすること」(32.1%)と続いている。

4. 地域福祉のあり方について

①地域を住みやすくするために、地域の人たちが取り組むこと

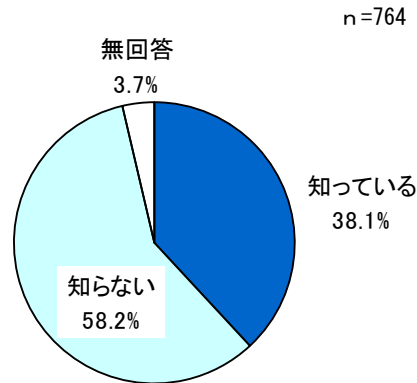
【問25】 あなたは、地域を住みやすくするために、これから地域の人たちが協力して、取り組んでいくことが特に必要だと考えていることはどんなことですか。(〇は3つまで)



「ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯への支援」(47.0%)が最も多く、次いで「災害時のさまざまな助け合い」(39.7%)、「防犯・防災などの活動」(23.8%)と続いている。

②地域の民生委員・児童委員の認知状況

【問 26】 あなたが今住んでおられる地域の民生委員・児童委員をご存じですか。(どちらかに○)



「知らない」(58.2%)が多く、次いで「知っている」(38.1%)となっている。

【年齢別】

60代～80歳以上では「知っている」が5割近くと多い。
一方、10代～30代では8割、40代～50代では6割を超えて「知らない」が多い。

※上段…回答数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		764 100.0	291 38.1	445 58.2	28 3.7
年齢別	10代・20代	49 100.0	5 10.2	44 89.8	0 0.0
	30代	96 100.0	18 18.8	77 80.2	1 1.0
	40代	90 100.0	28 31.1	61 67.8	1 1.1
	50代	104 100.0	38 36.5	66 63.5	0 0.0
	60代	191 100.0	90 47.1	98 51.3	3 1.6
	70代	156 100.0	76 48.7	64 41.0	16 10.3
	80歳以上	76 100.0	36 47.4	33 43.4	7 9.2

【前回調査との比較】

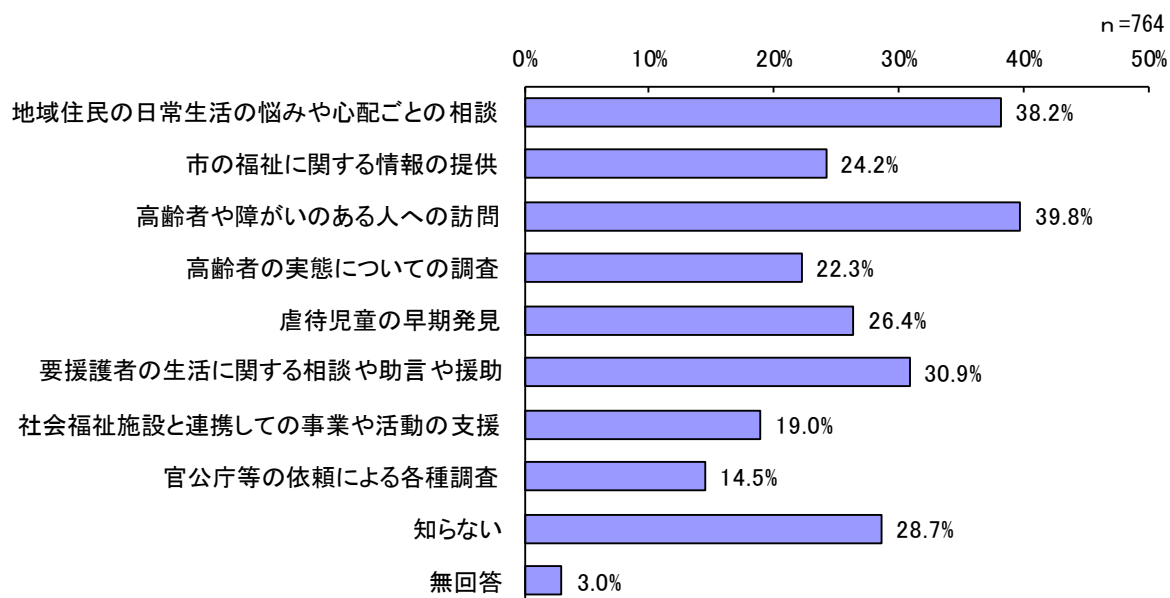
(%)

順位		カテゴリー名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	1	知らない	58.2	57.7
2	2	知っている	38.1	33.8
3	3	無回答	3.7	8.5
全体回答数 (n)			764	881

順位に変動はないが、「知っている」の回答割合が33.8%から38.1%にやや増加している。

③民生委員・児童委員の活動の認知状況

【問27】 民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、地域住民を対象に幅広く相談に応じ、支援が必要な者に対し必要な援助を行っています。民生委員・児童委員が行う活動として、あなたがご存じのものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)



「高齢者や障がいのある人への訪問」(39.8%)が最も多く、次いで「地域住民の日常生活の悩みや心配ごとの相談」(38.2%)、「要援護者の生活に関する相談や助言や援助」(30.9%)と続いている。

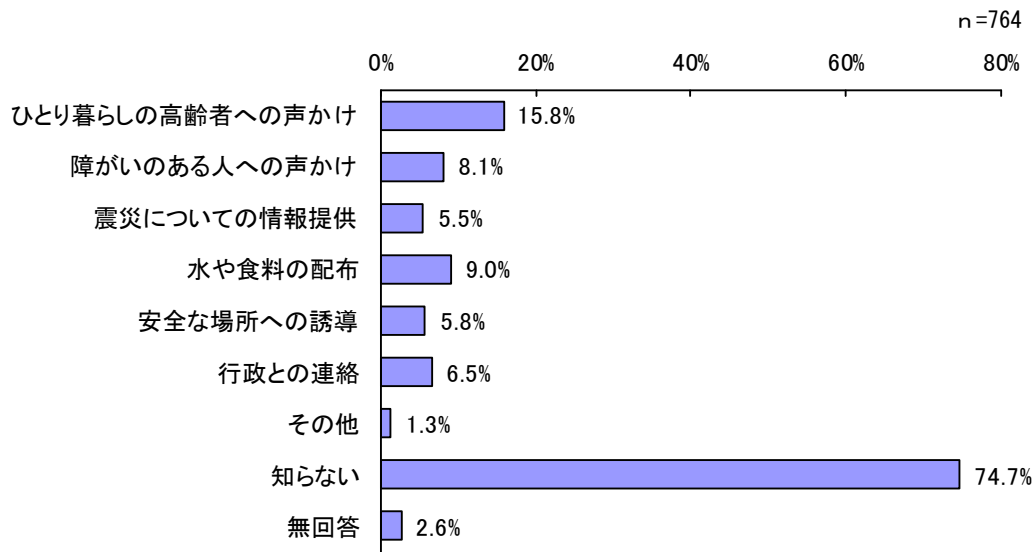
【前回調査との比較】

順位	カテゴリー名	今回調査 (%)	順位	カテゴリー名	前回調査 (%)
1	高齢者や障がいのある人への訪問	39.8	1	高齢者や障がいのある人への訪問	38.6
2	地域住民の日常生活の悩みや心配ごとの相談	38.2	2	地域住民の日常生活の悩みや心配ごとの相談	31.7
3	要援護者の生活に関する相談や助言や援助	30.9	3	いずれも知らない	30.6
4	知らない	28.7	4	要援護者の生活に関する相談、助言、援助	25.5
5	虐待児童の早期発見	26.4	5	虐待児童の早期発見	22.5
6	市の福祉に関する情報の提供	24.2	6	高齢者の実態調査	22.1
7	高齢者の実態についての調査	22.3	7	福祉に関する情報の提供	18.2
8	社会福祉施設と連携しての事業や活動の支援	19.0	8	社会福祉施設と連携、事業・活動の支援	14.8
9	官公庁等の依頼による各種調査	14.5	9	官公庁等の依頼による事実確認	12.6
10	無回答	3.0	10	無回答	7.8
	全体回答数 (n)	764		全体回答数 (n)	881

「地域住民の日常生活の悩みや心配事の相談」の回答割合が31.7%から38.2%に増加している。また、前回4位だった「要援護者の生活に関する相談や助言や援助」の回答割合が増加し、3位となっている。

④東日本大震災時の民生委員の活動内容の認知

【問28】 東日本大震災のとき、あなたの地域の民生委員がどんな活動をしていたかご存じですか。
(あてはまるものすべてに○)



「知らない」(74.7%)が最も多く、次いで「ひとり暮らしの高齢者への声かけ」(15.8%)、「水や食料の配布」(9.0%)と続いている。

【前回調査との比較】

(%)

順位		カテゴリー名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	1	知らない	74.7	76.4
2	2	ひとり暮らしの高齢者への声かけ	15.8	12.7
3	3	水や食料の配布	9.0	7.9
4	5	障がいのある人への声かけ	8.1	4.3
5	6	行政との連絡	6.5	4.3
6	8	安全な場所への誘導	5.8	2.3
7	7	震災についての情報提供	5.5	4.0
8	4	無回答	2.6	5.8
9	9	その他	1.3	1.5
全体回答数 (n)			764	881

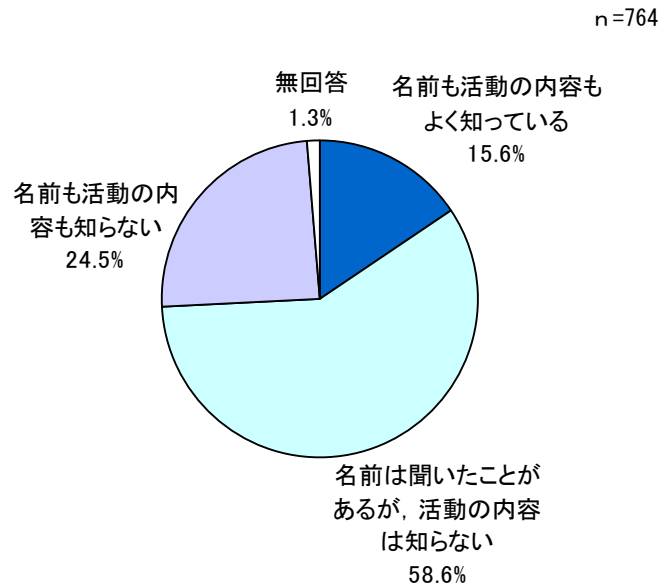
※「水や食料の配布」「震災についての情報提供」は、前回調査では「水や食料の提供」「情報の提供」

前回5位だった「障がいのある人への声かけ」及び6位だった「行政との連絡」、8位だった「安全な場所への誘導」の回答割合がやや増加し、それぞれ4位、5位、6位となっている。

一方、前回4位だった「無回答」の回答割合がやや減少し、8位となっている。

⑤ 「社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会」の認知状況

【問 29】 石岡市には、地域福祉への住民参加を促し意識の高揚を図るための諸活動を行う「社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会」があります。あなたは、この組織をご存じですか。(○は1つだけ)



「名前を聞いたことがあるが、活動の内容は知らない」(58.6%)が最も多く、次いで「名前も活動の内容も知らない」(24.5%)、「名前も活動の内容もよく知っている」(15.6%)と続いている。

【前回調査との比較】

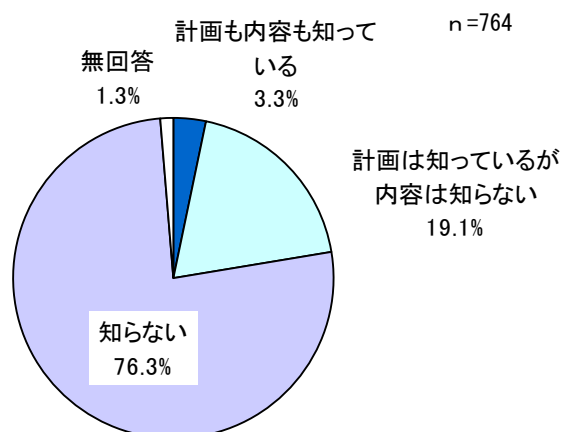
(%)

順位		カテゴリー名	今回調査	前回調査
今回	前回			
1	1	名前を聞いたことがあるが、活動の内容は知らない	58.6	52.9
2	2	名前も活動の内容も知らない	24.5	28.5
3	3	名前も活動の内容もよく知っている	15.6	13.5
4	4	無回答	1.3	5.1
		全体回答数 (n)	764	881

順位に変動はないが、「名前を聞いたことがあるが、活動の内容は知らない」の回答割合が52.9%から58.6%にやや増加している。

⑥石岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成24年度）の認知状況

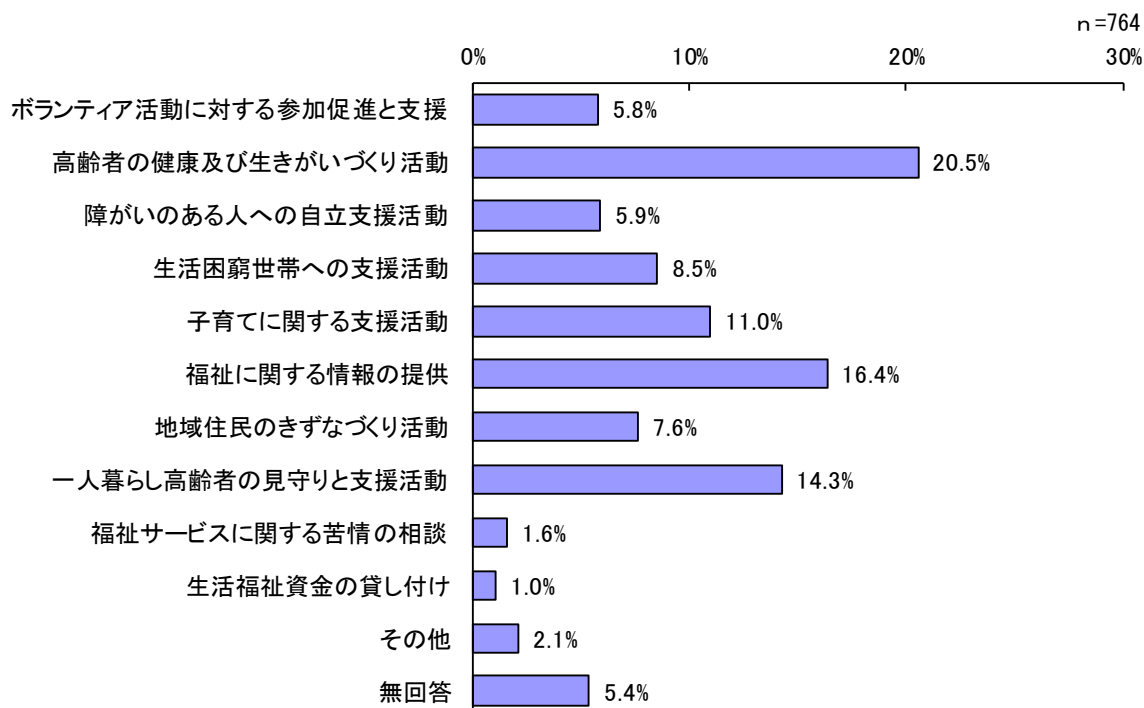
【問30】 あなたは、市と社会福祉協議会が平成24年3月に策定した石岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画をご存知ですか。（○は1つだけ）



「知らない」(76.3%)が最も多く、次いで「計画は知っているが内容は知らない」(19.1%)、「計画も内容も知っている」(3.3%)と続いている。

⑦社会福祉協議会の活動や支援として充実してほしいもの

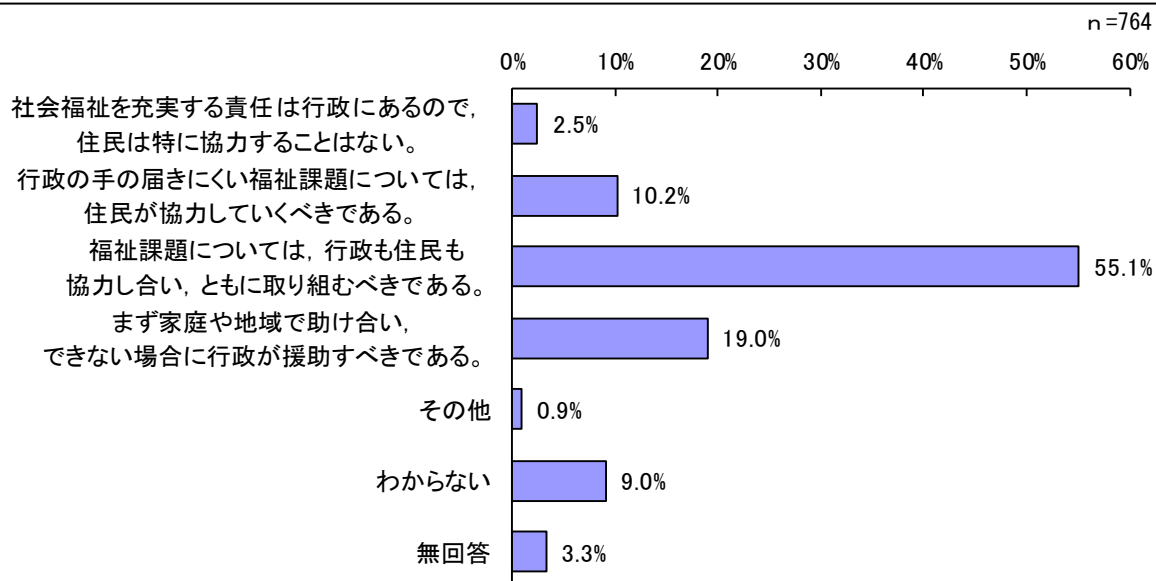
【問31】 社会福祉協議会は、地域の様々な福祉課題の解決に向けて活動や支援を行っています。社会福祉協議会が行う活動や支援として、あなたが今後、特に充実してほしいものに○を付けてください。（○は1つだけ）



「高齢者の健康及び生きがいづくり活動」(20.5%)が最も多く、次いで「福祉に関する情報の提供」(16.4%)、「一人暮らし高齢者の見守りと支援活動」(14.3%)と続いている。

⑧社会福祉サービス充実のための行政と地域住民の関係

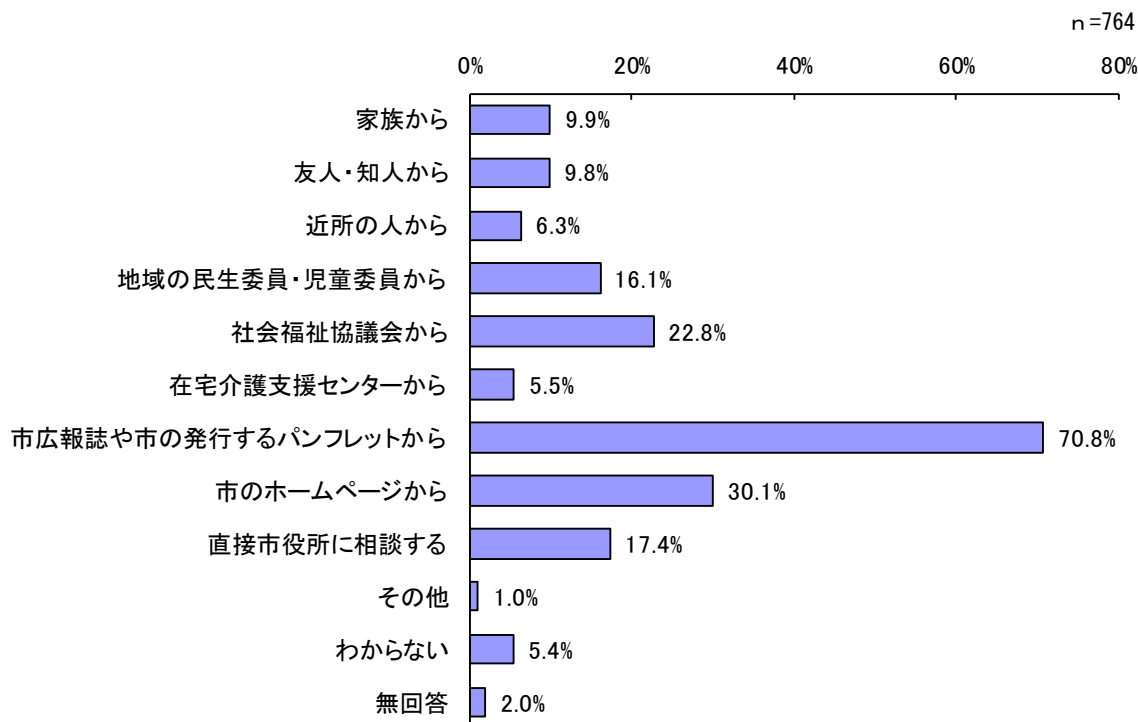
【問 32】 あなたは、これから、石岡市の社会福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民はどんな関係をとっていくべきだとお考えですか。(〇は1つだけ)



「福祉課題については、行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである。」(55.1%) が最も多く、次いで「まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである。」(19.0%)、「行政の手の届きにくい福祉課題については、住民が協力していくべきである。」(10.2%) と続いている。

⑨市の福祉に関する情報の入手先

【問 33】 あなたは、市の福祉に関する情報を、どのように入手したいですか。(〇は3つまで)



「市広報誌や市の発行するパンフレットから」(70.8%) が最も多く、次いで「市のホームページから」(30.1%)、「社会福祉協議会から」(22.8%) と続いている。

【年齢別】

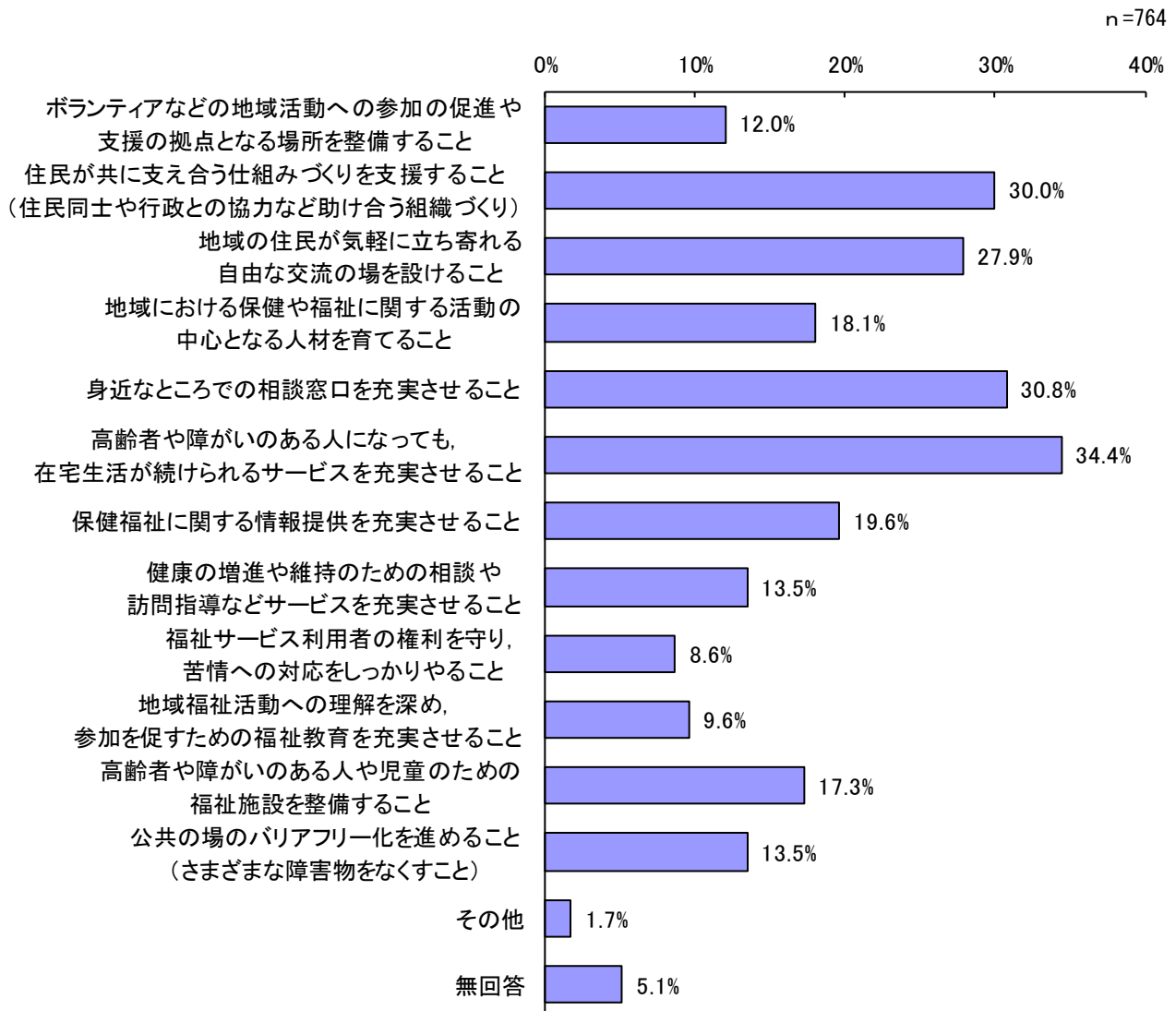
※上段・・・回答数（単位：人）、下段・・・構成比（単位：％）

	合計	家族から	友人・知人から	近所の人から	地域の民生委員・児童委員から	社会福祉協議会から	在宅介護支援センターから	市広報誌や市の発行するパンフレットから	市のホームページから	直接市役所に相談する	その他	わからない	無回答	
全体	764 100.0	76 9.9	75 9.8	48 6.3	123 16.1	174 22.8	42 5.5	541 70.8	230 30.1	133 17.4	8 1.0	41 5.4	15 2.0	
年齢別	10代・20代	49 100.0	12 24.5	4 8.2	1 2.0	5 10.2	4 8.2	0 0.0	29 59.2	30 61.2	5 10.2	1 2.0	5 10.2	0 0.0
	30代	96 100.0	10 10.4	9 9.4	7 7.3	14 14.6	9 9.4	6 6.3	74 77.1	50 52.1	11 11.5	1 1.0	6 6.3	0 0.0
	40代	90 100.0	7 7.8	6 6.7	5 5.6	10 11.1	14 15.6	1 1.1	74 82.2	41 45.6	12 13.3	1 1.1	3 3.3	0 0.0
	50代	104 100.0	4 3.8	8 7.7	3 2.9	16 15.4	24 23.1	5 4.8	75 72.1	34 32.7	17 16.3	1 1.0	6 5.8	1 1.0
	60代	191 100.0	12 6.3	19 9.9	15 7.9	33 17.3	61 31.9	14 7.3	143 74.9	46 24.1	49 25.7	1 0.5	5 2.6	2 1.0
	70代	156 100.0	15 9.6	18 11.5	10 6.4	33 21.2	44 28.2	8 5.1	105 67.3	21 13.5	25 16.0	2 1.3	8 5.1	10 6.4
	80歳以上	76 100.0	16 21.1	11 14.5	7 9.2	12 15.8	18 23.7	8 10.5	40 52.6	6 7.9	13 17.1	1 1.3	8 10.5	2 2.6

10代～30代では「市のホームページから」、40代では「市広報誌や市の発行するパンフレット」（82.2%）及び「市のホームページから」（45.6%）、60代では「社会福祉協議会から」（31.9%）及び「直接市役所に相談する」（25.7%）、70代では「社会福祉協議会から」（28.2%）及び「地域の民生委員・児童委員から」（21.2%）、80歳以上では「家族から」（21.1%）が多い。

⑩地域の福祉向上のために、市が充実させるべきこと

【問 34】 あなたは、地域の福祉を向上させるために、これから石岡市がどんなことを優先して充実させるべきだと思いますか。(〇は3つまで)



「高齢者や障がいのある人になっても、在宅生活が続けられるサービスを充実させること」(34.4%)が最も多く、次いで「身近なところでの相談窓口を充実させること」(30.8%)、「住民が共に支え合う仕組みづくりを支援すること(住民同士や行政との協力など助け合う組織づくり)」(30.0%)と続いている。